VOLUME.
7

【漫画】小宮利公
【原作】笑うヤカン
キャラクター原案◎新堂アラタ

魔王の始め方
THE COMIC

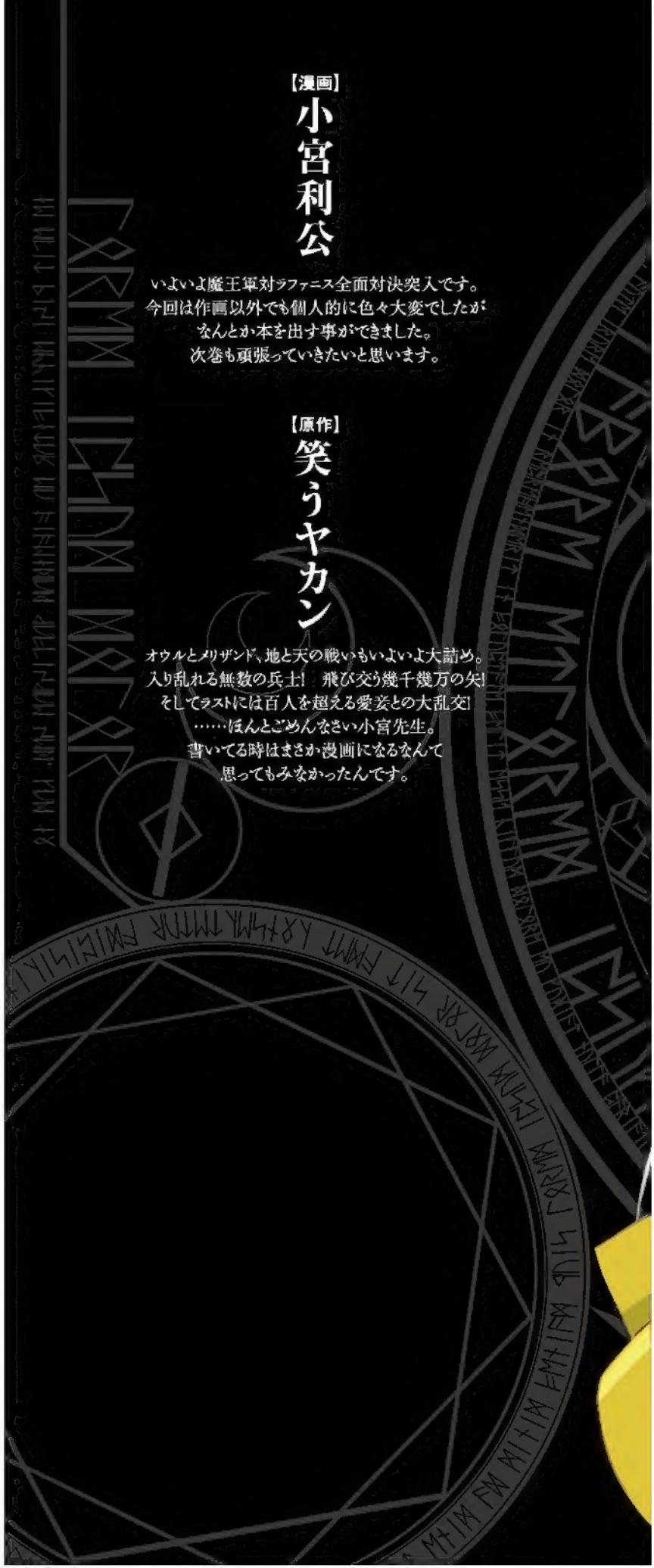
ヴァルキリーコミックス

【漫画】
小宮利公

いよいよ魔王軍対ラファニス全面対決突入です。
今回は作画以外でも個人的に色々大変でしたが
なんとか本を出す事ができました。
次巻も頑張っていきたいと思います。

【原作】
笑うヤカン

オウルとメリザンド、地と天の戦いもいよいよ大詰め。
入り乱れる無数の兵士！　飛び交う幾千幾万の矢！
そしてラストには百人を超える愛妾との大乱交！
……ほんとごめんなさい小宮先生。
書いてる時はまさか漫画になるなんて
思ってもみなかったんです。



ヴァルキリーコミックス

魔王の始め方

THE COMIC

7

【漫画】小宮利公 【原作】笑うヤカン
キャラクター原案◎新堂アラタ

CONTENTS

valkyrie comic series - how to book on the devil the comic
comicwork by komiya toshimasa - story work by warau yakan
presented by kill time communication

7

Step.48 ——— 5

Step.49 ——— 25

Step.50 ——— 41

Step.51 ——— 61

Step.52 ——— 81

Step.53 ——— 103

Step.54 ——— 131

Step.55 ——— 151

Step.56 ——— 171

Step.48
行くぞ！
「加速」だ！
ブオン
ミキ
ミキ
ミキ
ミキ
ミキ
ミキ

いくぜ
えええ！
ドドド

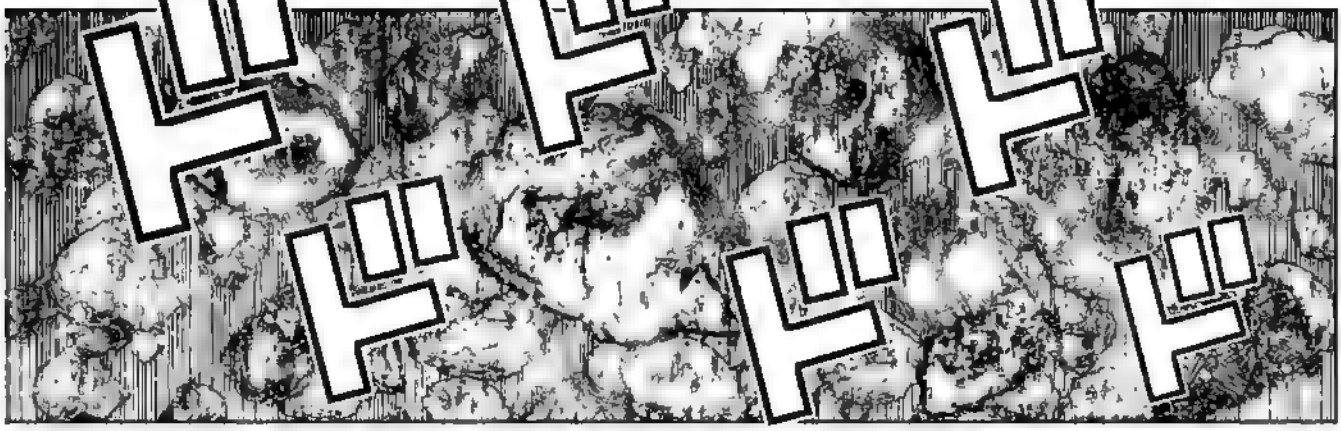
ドドド

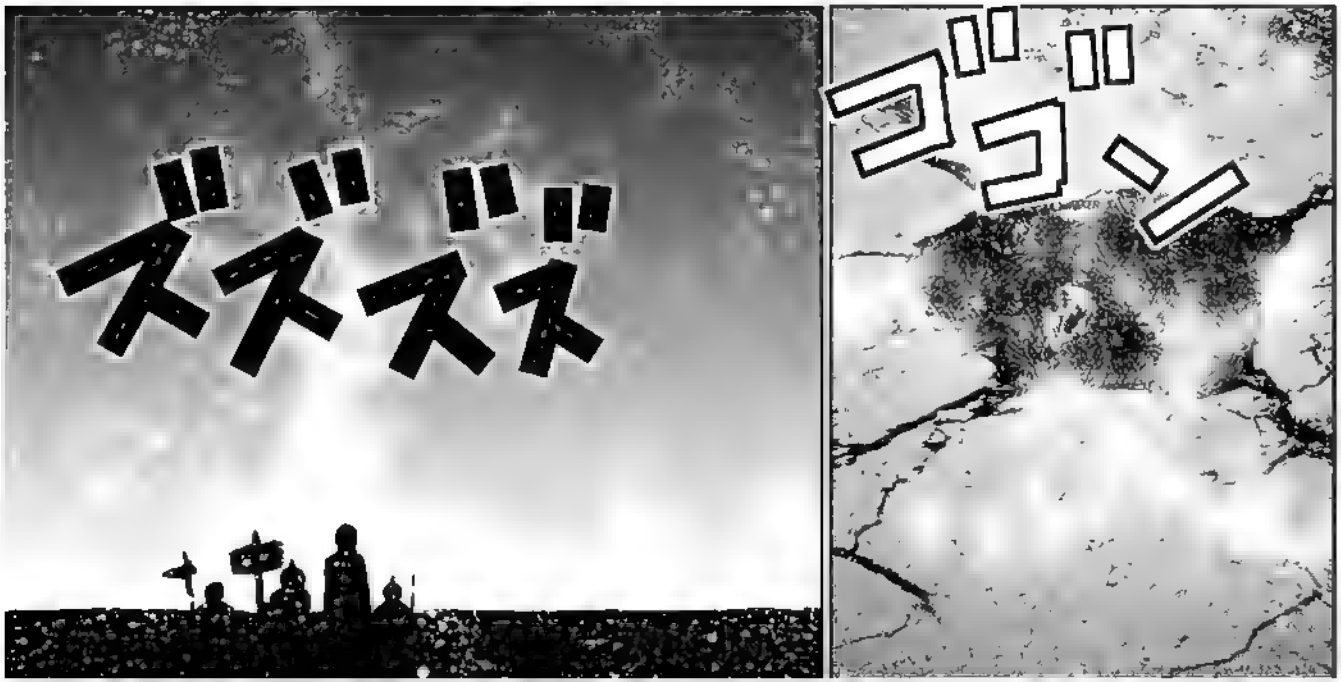
でもさすがに地下は警戒してるんじゃない？
だろうな
つい先だって聖女を攫ったばかりだ地下から来るとわかっていればいくらでも感知のしようがある
間違いなく敵はなんらかの手段で地下を守っているはず
…だからこそ俺はそこを突破すると決めた『何より安全だから』な
恐らく敵は前回の坑道から掘り進むか
その途中に横道を作って侵攻すると考慮していることだろう
であれば奴らは祭壇真下の坑道から大神殿までの間の面を警戒し
そこから中に侵入されないよう用心しているはずだ
しかし
我々が今掘っているのはその思考の範疇外
それ以上の範囲を警戒するのは現実的ではない
なにせその面でさえ『深さ』という問題があるのだ
あまりにも深い場所までは魔術であろうが法術であろうが影響が届かない
既に…
位置的には神殿の真下だ

この地点は
聖女を攫うより
前に掘り陣を
描いていた場所
もとより聖女の
拉致に失敗したときの
保険として襲撃用の
坑道も掘っていたのだ
つまり地中奥深くから
大きく螺旋を描くように
敵の警戒範囲を避け
ゆっくりと上へ
進んでいるところだ
入り口を埋め存在を
知られないよう
深く埋没させたので
直接 攻め入ることは
できないが
攻め入る
布石の一つ…
『地中の砦』と
でも言うべき
一室だ
!?
!!
魔術師
さんよ
!
そろそろ
抜けるぞ!

なんだと？
おかしいぞ
地上までまだ
100ヤードは
あるはずだ
コン
コン
天然の洞窟でも
あるのかも
しれんな
それは
そうなんだがなぁ
この音は薄い
壁を掘る音だ
洞窟か…
それは少々
歓迎できない
事態だな…
とにかく
見てみぬことには
どうにもならん
水音は
しないな？
ああ
そりゃ平気だ
間に空洞が
あるとなると
迂回するか
階段を作らねば…
地上までギッシリ
土が詰まっているなら
そのまま坑道を
掘って進めるが
どちらもかなりの
時間のロスだ
迂回するとしても
敵の警戒網に
引っ掛かる
可能性が高い…
ドゴ
じゃ
ぶち
抜いちまうぜ

ゴゴゴ
おらぁああ！


ドドドドドドドドドドドド

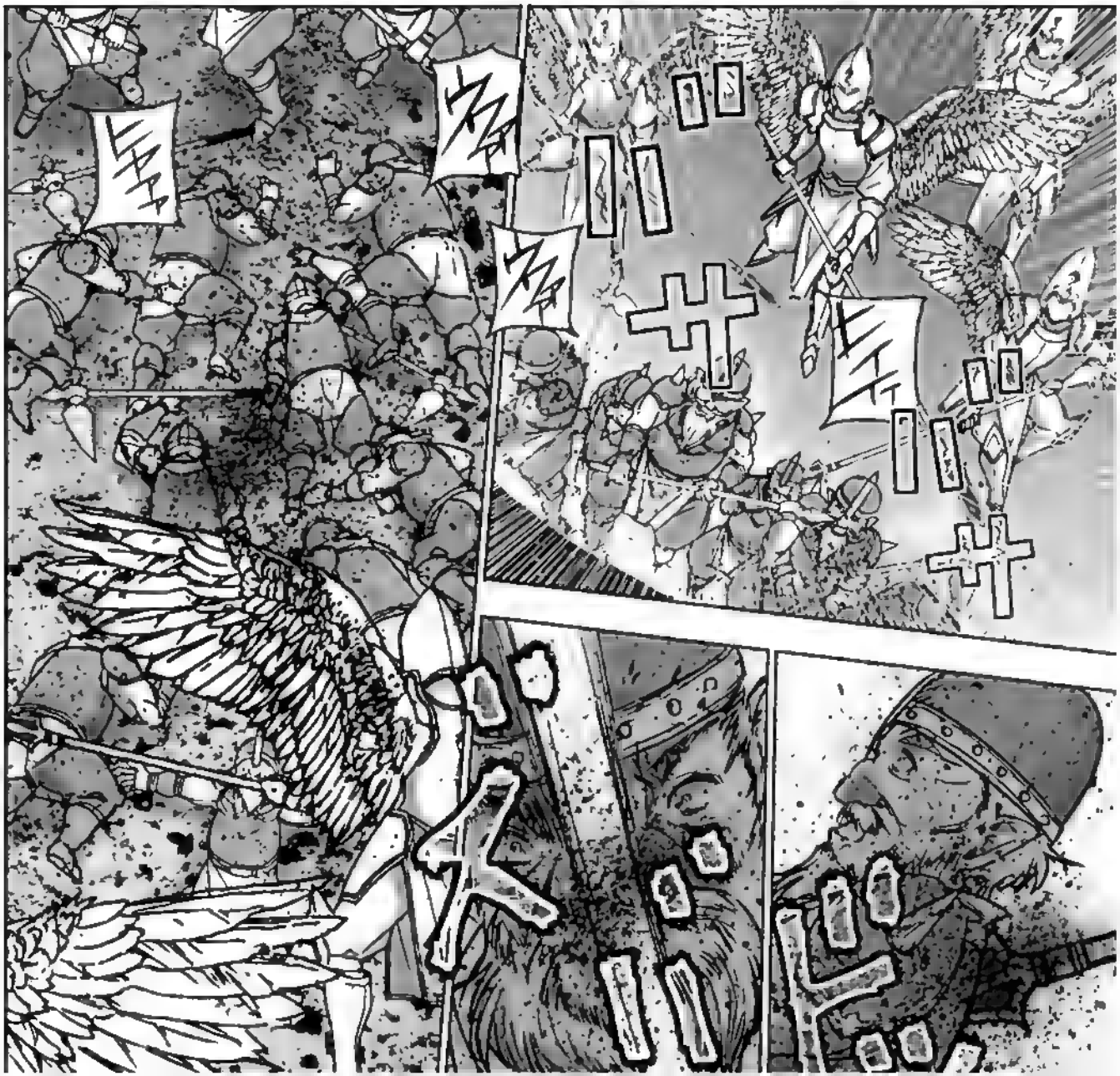

ズズズズ
ゴゴゴゴ

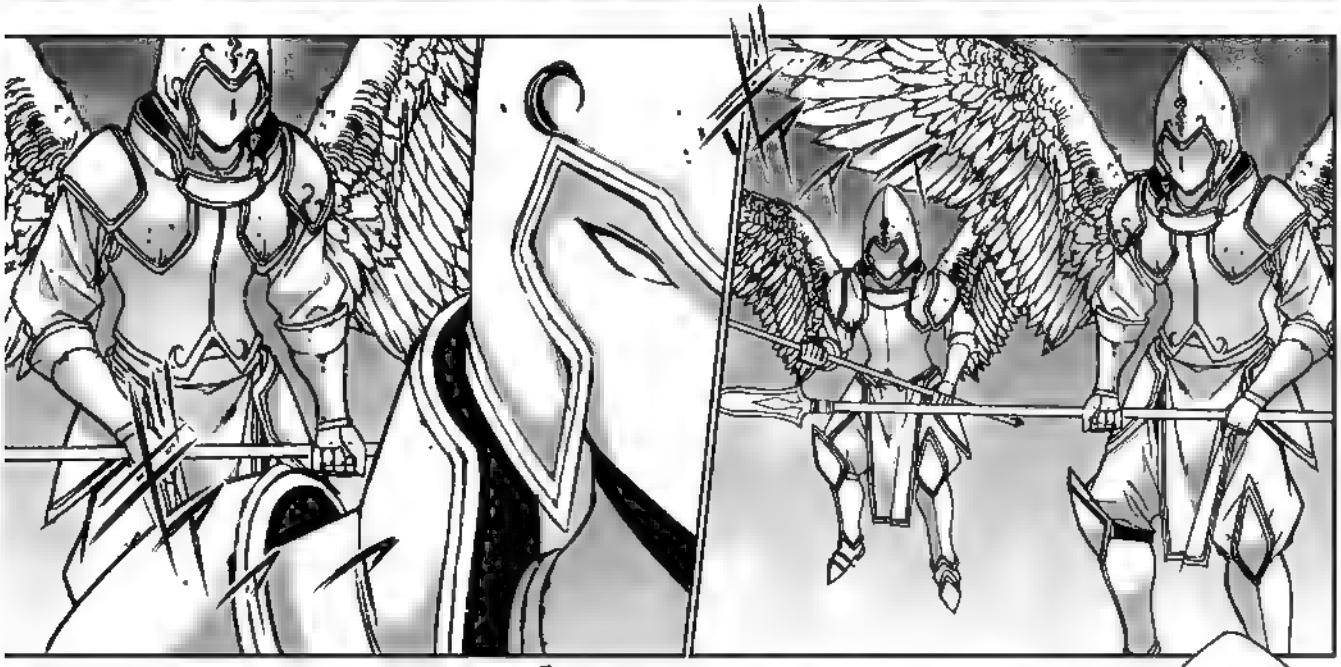
な…
これは自然のものではない…
明らかに人の手で作られた空間…
お待ちしてましたよ魔王オウル
ザッ
その通り
!?

初めまして
七英霊が一人
『不死身』
と申します
英霊…！
さあ
始めましょう
ズズズズズズ

て…天使！
この数は…

ドゴ
ドゴ
うわあああ
ドオッ
ひいい
ドゴ
ヤミ



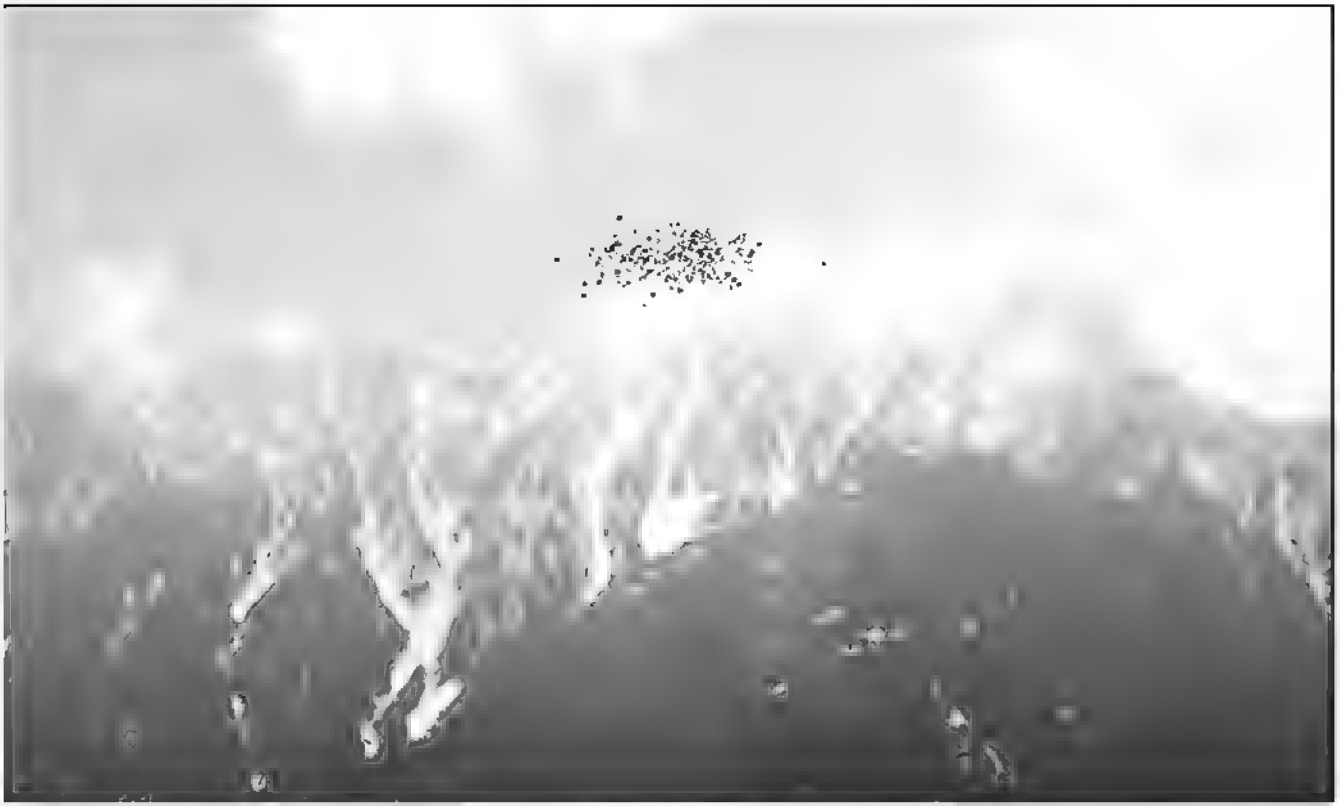


オ…オウル
く…

弓兵！
放てえ！

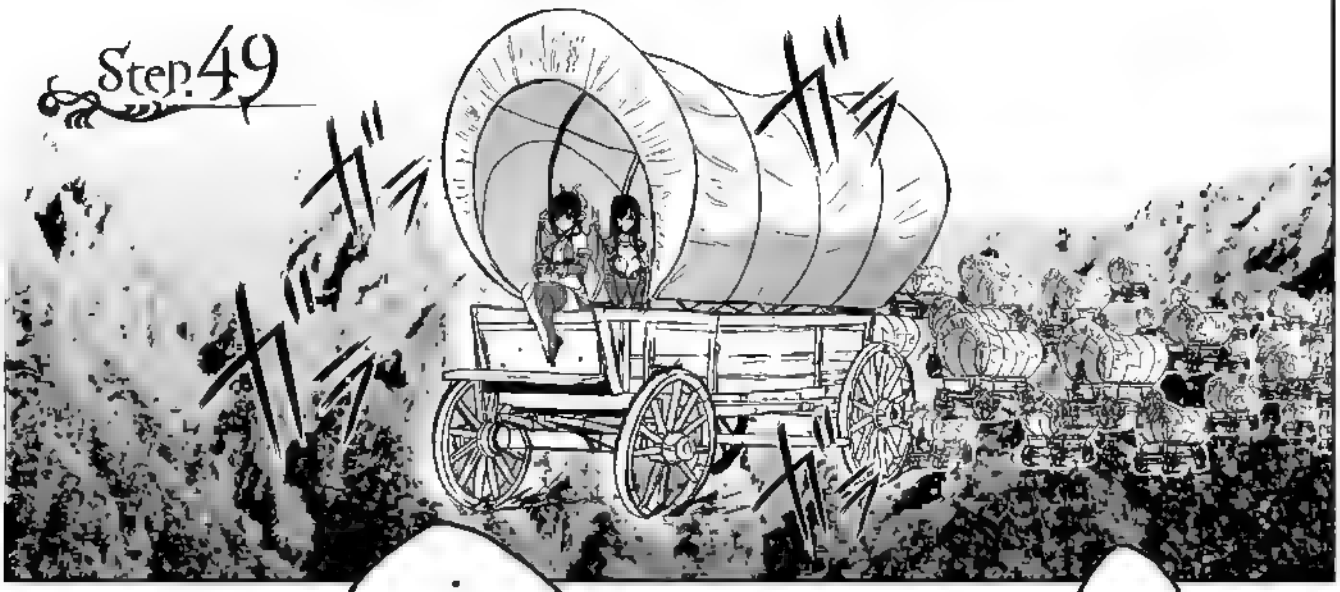
まずは
初戦快勝
ってとこかね

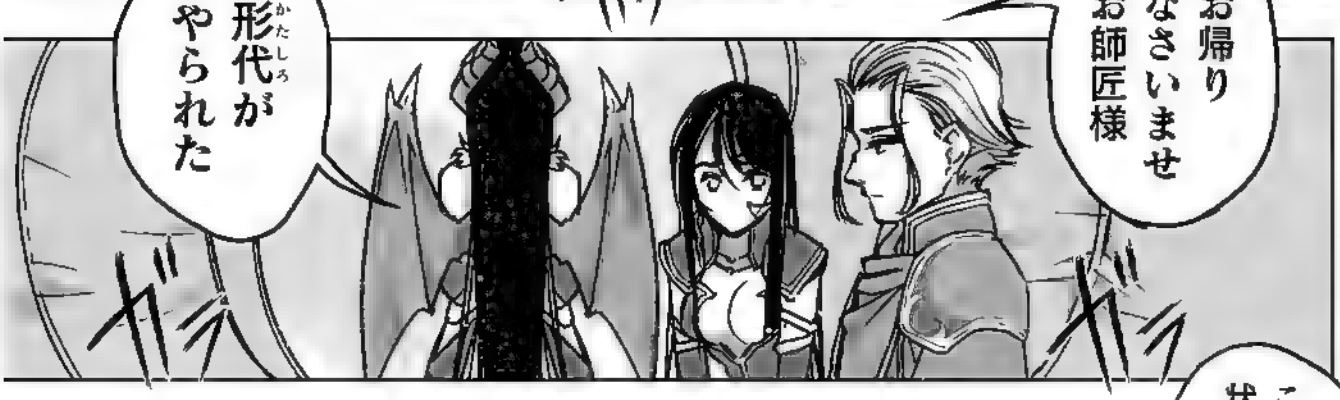
しっかし…
うちのボスにも
参ったもんだ
どこの世界に
英霊に土木工事
やらせる聖女が
いるってんだ？

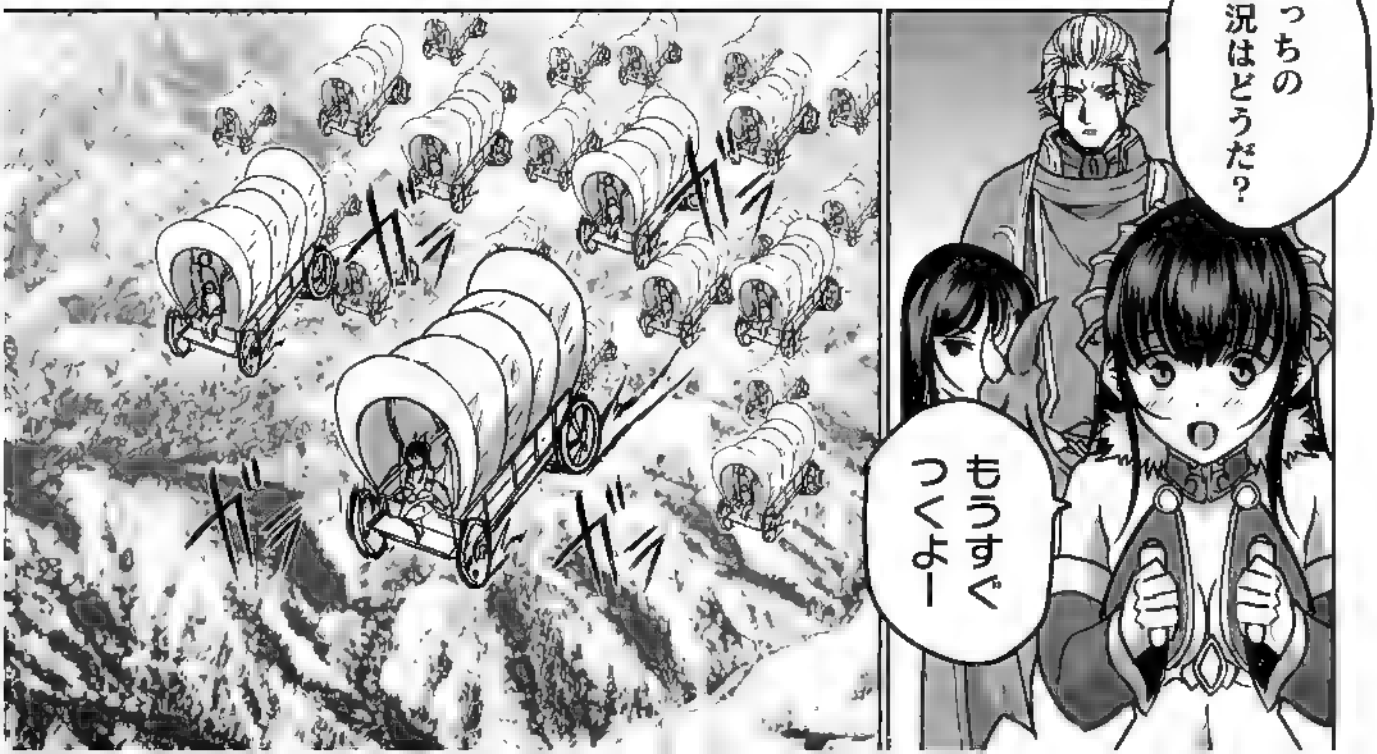


Step.48 End

Step.49







……
どしたの？
ガラ ガラ
…いや
馬がなくとも
馬車と
言うのかと
思ってな
ゴト ゴトン
あー…
そうだね
そういや
馬つけてないね
忘れてた
「空飛ぶ馬車」と
名付けたのは
お前だぞ
細かいことは
いーの いーの
しかし
地形を無視して
大量に人員を
輸送できること
作るのが
比較的容易で
数を揃えられる
ことが何よりも
優れている
五百台に
五千もの兵を載せ
関も砦も飛び越え
直接 首都を狙う
算段だ
地下の侵攻とは
互いに陽動であり
互いに本命
どちらかが
潰されれば
どちらかで
奇襲をかける
その手筈
だったのだが
地下側が
予想外に早く
潰された形だ
とはいえ
奇襲そのものが
失敗に終わった
わけではない

地下に防衛を回した分 地上は手薄になっているはずだし
時間稼ぎは成功した
いくぞ…一気に攻め込め！

遅いぞ
たわけ
無茶言わんで
くださいよ
ボロ。
こっちは
ひどい目に
あったって
いうのに
どうもこうも
ないですよ
ズズズ
——うちの
ボスにも
参ったもんだ
どうした？
…!?
ズズズズ

やけに
きれいな
死骸だな?
いやこいつら
血の一滴も流し
ちゃいない!
まさか!?
形(かた)し…

倒したと
思った瞬間
敵が見事に
大爆発

うおおお！
ゴオオオ
ヒビ
て……
ピシ
ピシ
ピシ
天井が！

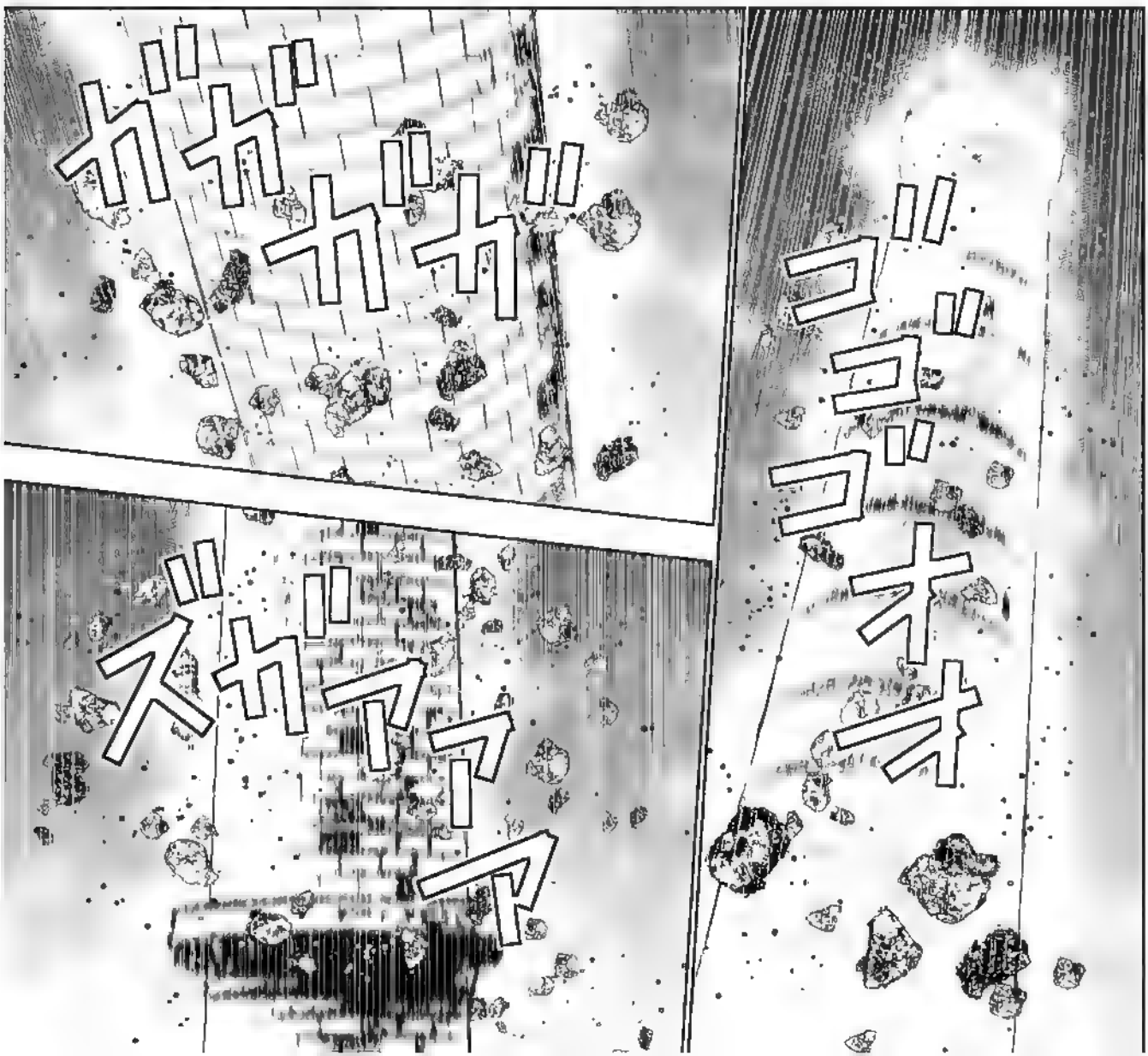
ヌ!!
坑道ごと埋まって
天使どもは大半
圧死ですよ
ぐじゃ
ぐじゃ
俺も不死身
じゃなきゃ
死んでました

いやー
ツルハシ
持ってたのが
不幸中の幸い
でしたね
やはり
一筋縄ではいかぬ
相手だな
外を見よ
え？
ゴゴゴゴ ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ

…馬車!?

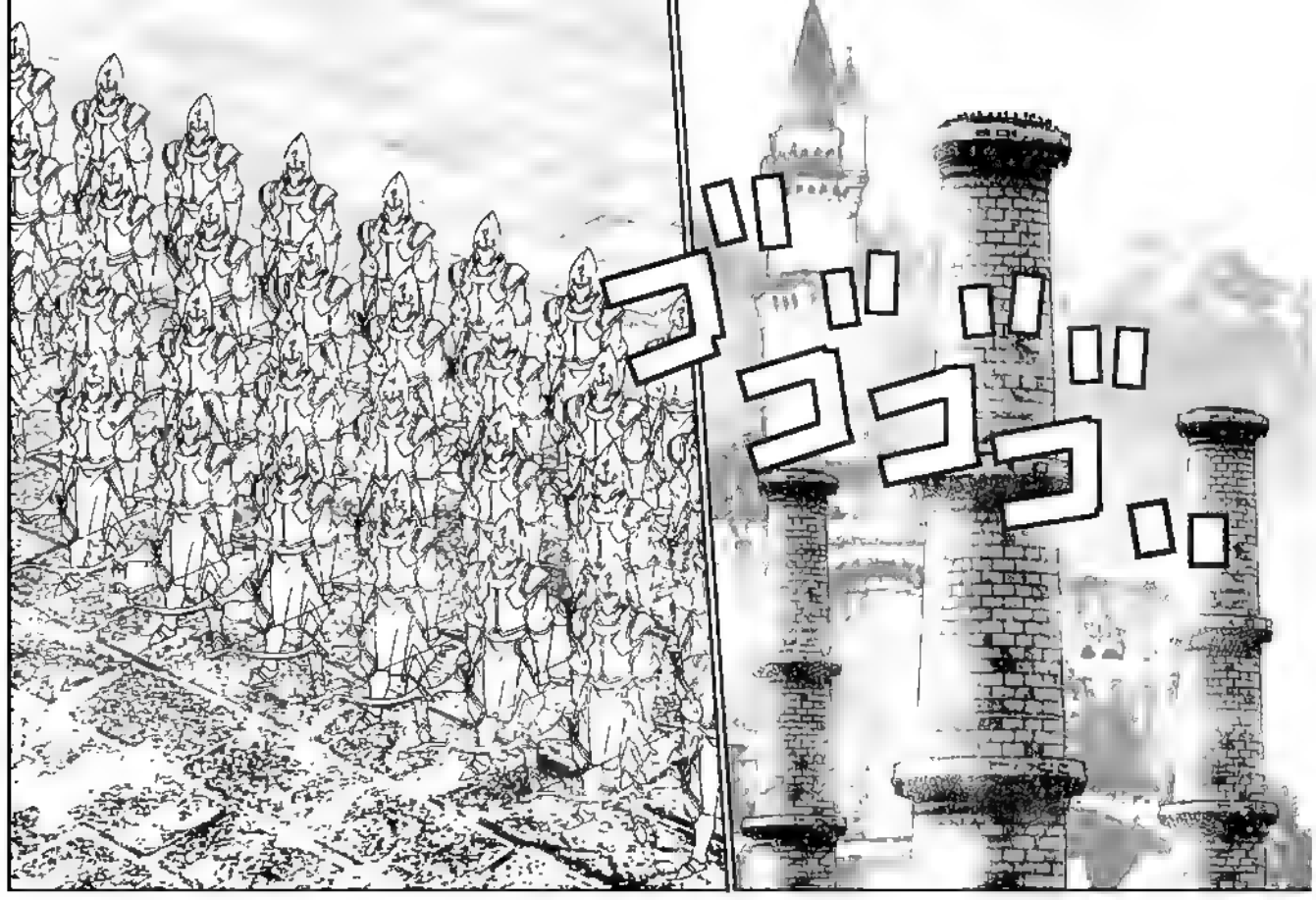
どうやら
魔王オウルの
軍勢のようだな
よもや
あのようなものを
持っていたとはな
呪具…いや
魔兵器とでも
呼ぼうか
いや
名前はなんでも
いーんですけど
アレ結構
ヤバくない
ですか
そうだな
結構ヤバい
フィグリアから
ここまではかなりの
距離がある
転移するにも
そう量は呼べぬ
だろうから
正面からの
攻撃はないと
踏んでいたのだが…
まあ予想は
していなかった
とはいえ

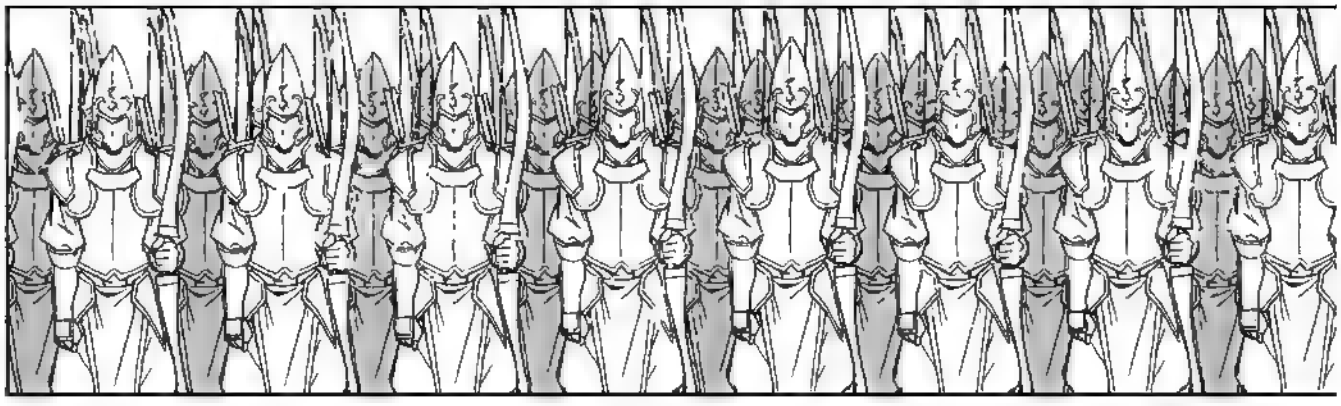
ガシャーン
ゴゴゴゴゴ…
む…？

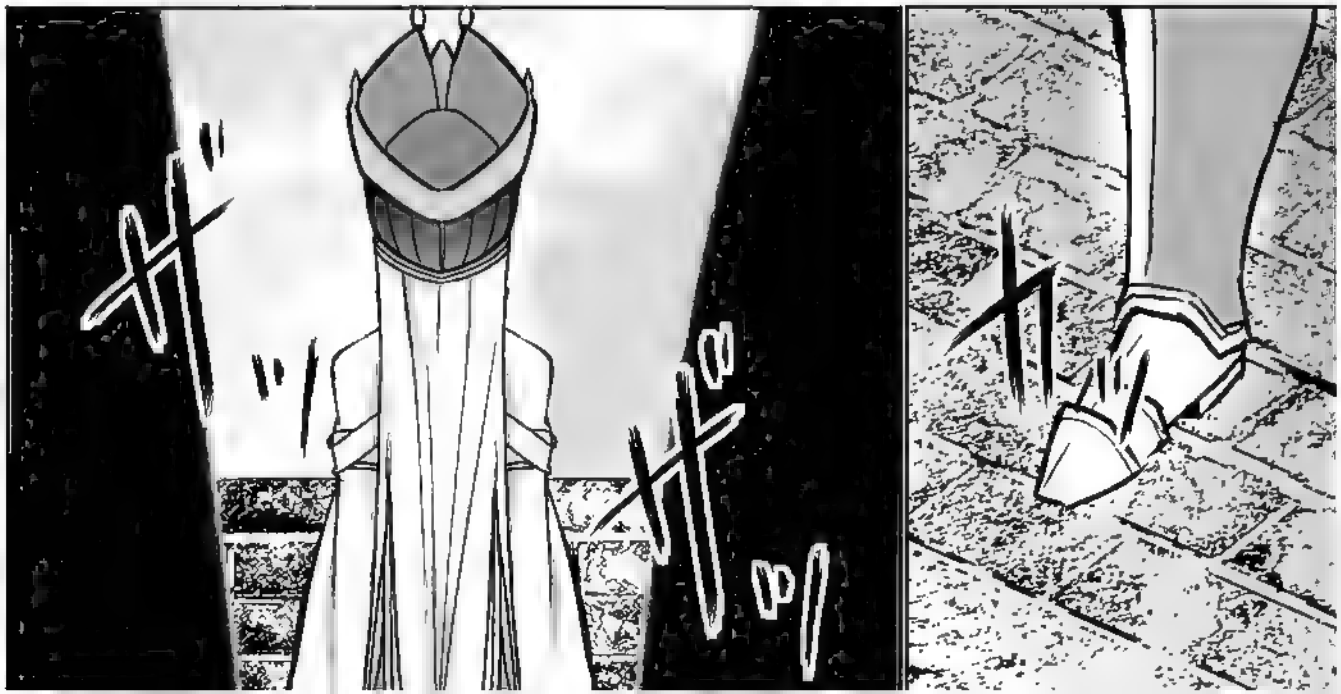

ガガガガガ
ゴゴゴゴオオ
ズガアアアア

これは…！
塔が…
生えてくる！

準備しておかぬ
理由になりは
しないがな


ゴゴゴゴ…

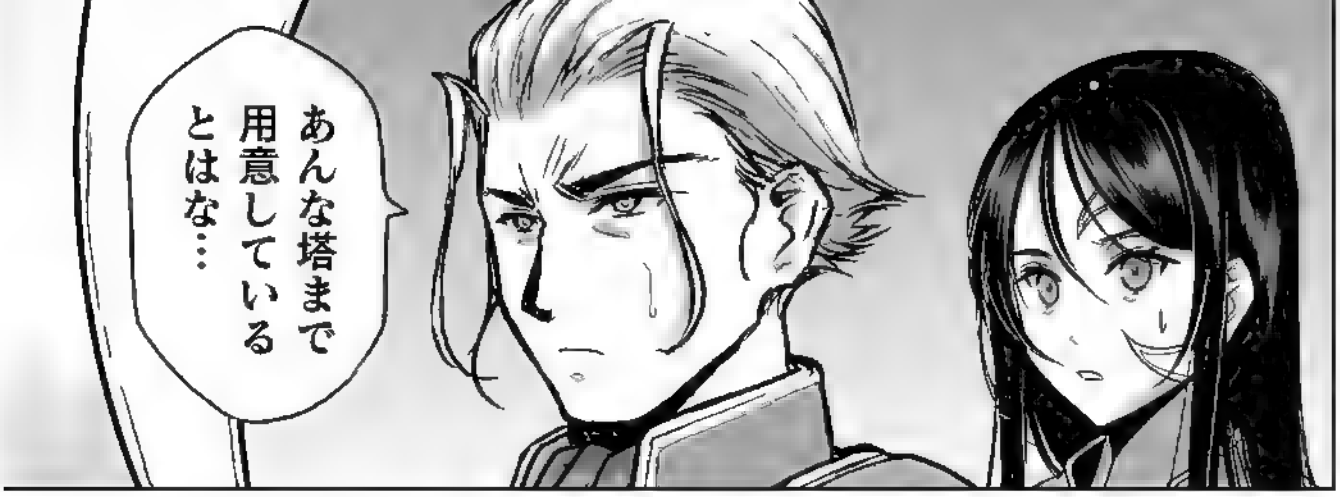


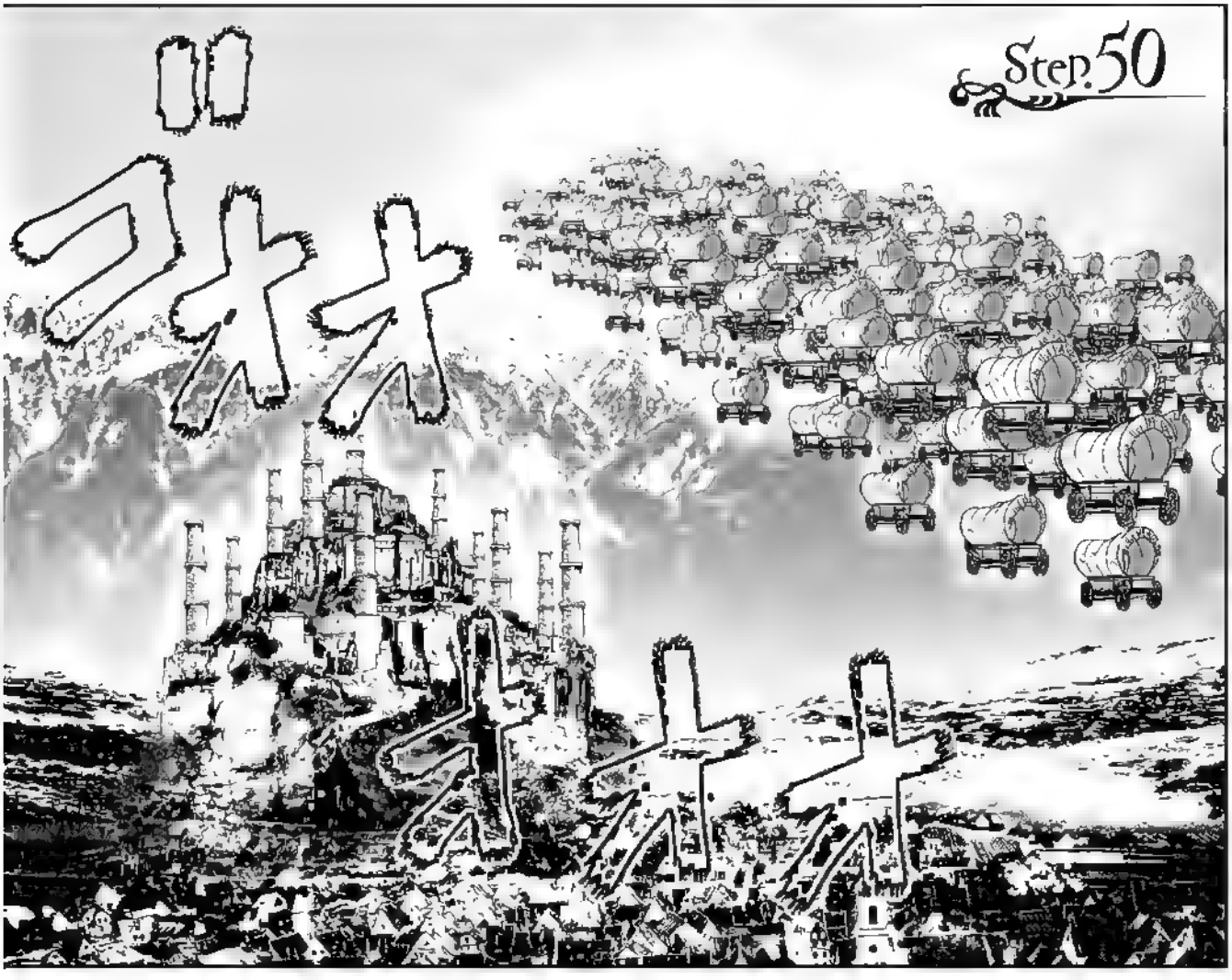


相手はわざわざ
大きな的を
用意してくれた

ありがたく
射落とせ

Step.49 End




Step.50
ゴゴゴ

ゴゴゴ
放て！
ドドドド
ドドドド

ボッ
ゴオー
全軍
高度を上げろ！
バババ

ゴオオオオ

間に合ったか

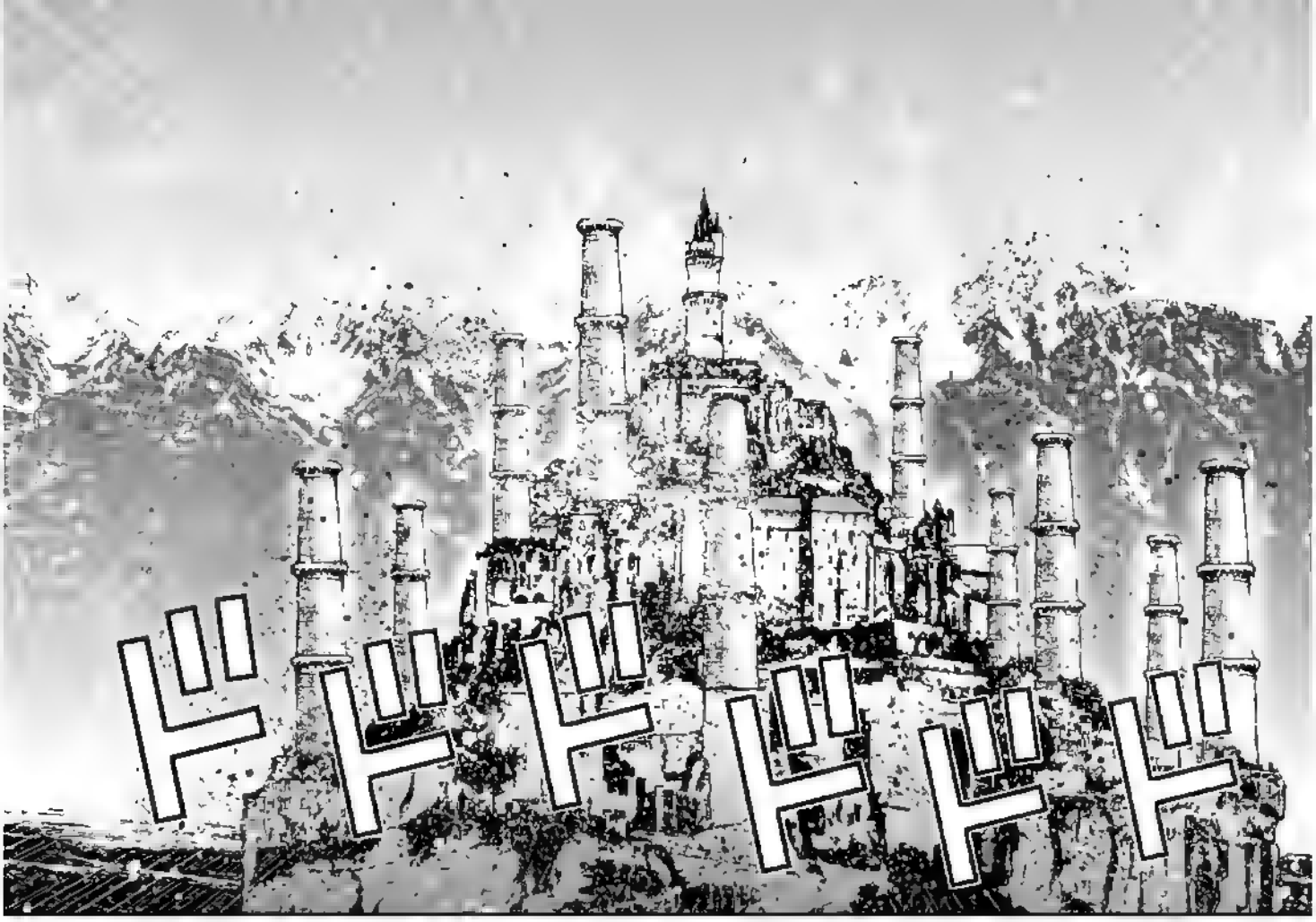
ラズはさ…
……
ただただ
研究が
楽しくて
より効率よく
より効果的に
人を殺す武器を
作り出すことを
求めていた
オウルに会うまで
兵器を作ることを
なんとも思って
いなかった

それが
どういうことなのか
何を意味するのかまでは
わかってなかった
知らなかった
でも
…兵器作りを
やめたんだ
リル…
オウルと会って戦争が
どういうものなのか
自分が何を作って
いるのかを理解して…
でも…
カチ
私は悪魔だから
そんなの全然
気にしませーん
色々
台無しだな
お前は
えい
ドカ

ドーン
!?
うわああ
何事だ！

なんだ
あの武器は？
こちらの
弓とは威力も
段違いだ
ジャキ
ジャキ
ドドド

ドドド


ドドド

扱いやすく
弓矢や投石機の
ように高い練度は
必要とせず
数日ほどの
簡単な訓練で
誰にでも
使用できる
ドン!
そして
その射程の
長さだ
『石火矢』は
投石機や
石弓といった
大型兵器と対等の
射程距離を誇る
さらに空から撃てば
大型兵器に対して
一方的に攻撃する
ことが可能
『魔女』と呼ばれた
ラズの知恵を
悪魔であるリルが
遺憾なく振るった
結果がこれだ

……
ゴゴゴゴゴゴゴ
おかしい…
どういうこと？
どうした
…倒れない
上空へ
備えるための塔に
ここまでの強度を
持たせる必要は
ないはず…
ゴオオ
キラ
いけない！
全軍反転…
ドキュッ

ドドドドド
!?
なんだと！

しまった！
やられた…
最初から
これが目的だった
ってわけ!?
まずい
どうしようオウル！
上をとられた！

ドドド

我々の陣形は
同士討ちを
防ぐため 前列ほど
上方に位置する
ようになっている
そうすれば
斜め下方の
射線に味方が
入ることはない
しかし敵が上方にいては
その布陣が仇となる
相手を撃とうとすれば
味方に当たってしまう
駄目だ！
オウル
反転の指示を！
今ここで
横腹を晒したり
すればそれこそ
全滅する！
お師匠様
とはいえ
このまま
では…
オウル！

ドドド

黒の氏族
エレン
恩義により
助太刀に参った！
Step.50 End

ようやく…って来るの知ってたの？

こんな募兵で勝てる相手ではないのは元々わかっていたことなのだからな

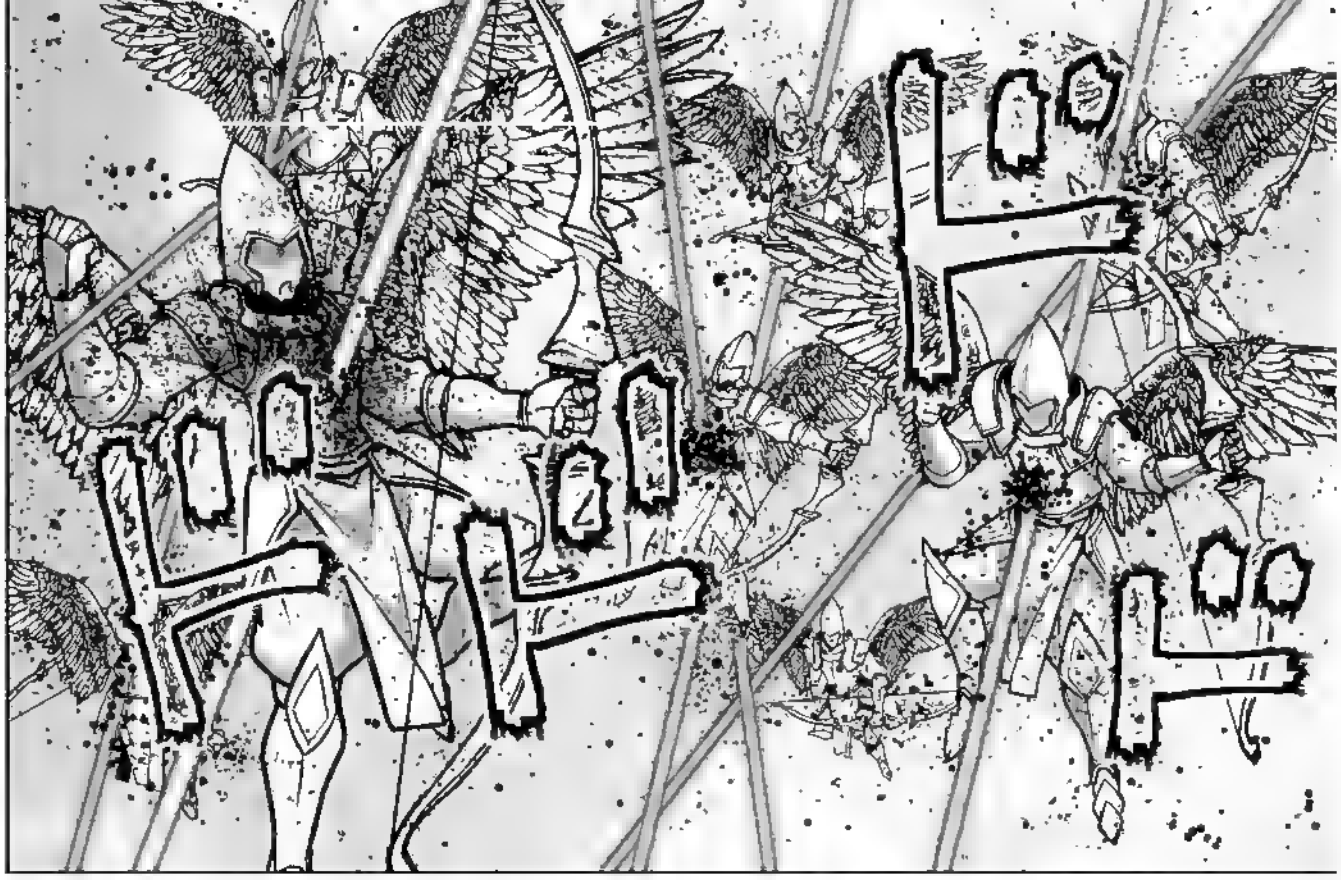
先に言っておきなさいよ！

当然だ

敵を騙すにはまず味方からと言うだろう？

エレンとミオの名は
思っている以上に
広まっている
手足のように
飛竜を駆る乙女と
雨のように矢を降らす
黒アールヴの美女
コンビ
『魔王の竜騎兵』
といえばちょっとした
叙事詩（サーガ）になるほどの
知名度を持ち
魔王軍の
主力として
認識されていた
それが故に
オウルは彼女
たちを迷宮から
出したのだ
…リルにすら
知らせぬ密命を
持たせて

ドドド



ドドド

はーっはっはっは！
ノリノリだねエレン…あの子戦いになるとキャラ変わるよね？
というかどう見ても五万三千もいないのですが
おそらく53人いるのだろうな 一騎当千で五万三千だ

俺がエレンたちに与えた密命は黒アールヴの残党捜索と魔獣の戦力確保だ
白アールヴたちが支配下に収まった今エレンたちと敵対する相手はいないからな
ミオも魔獣たちが自然と集まってくる迷宮でその世話をさせているより
外に出て魔獣を捕まえにいくほうが戦力の増加を図ることができる

戦力の隠匿と増強
その二つを見込んで彼女たちを迷宮から手放した
ああ わかっている
「時が来るまで待て」と

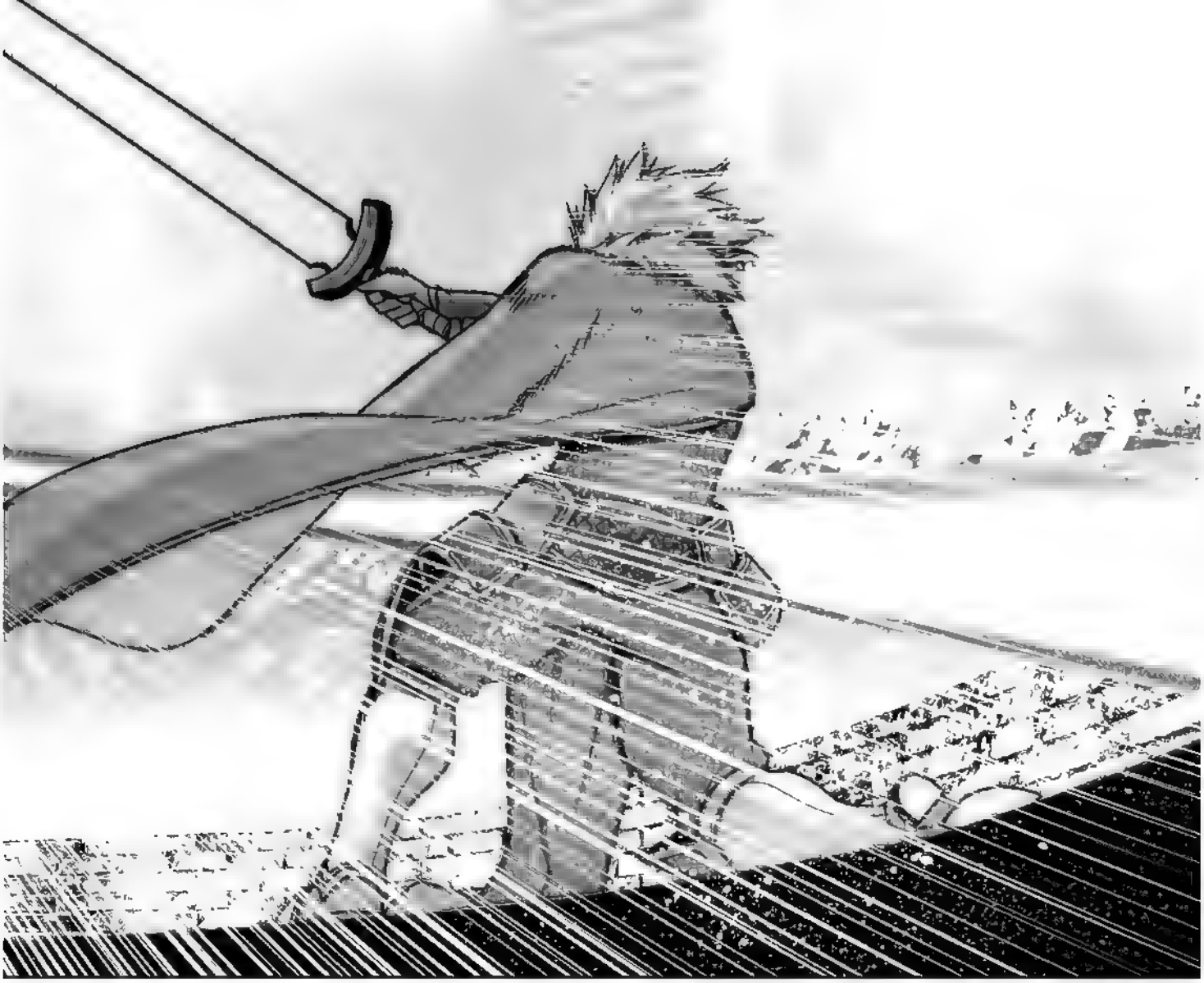
オウル あれさ…
あれは所詮下級から中級程度の天使…魔物でいえばガーゴイル並み
まだ主力は出てきていない

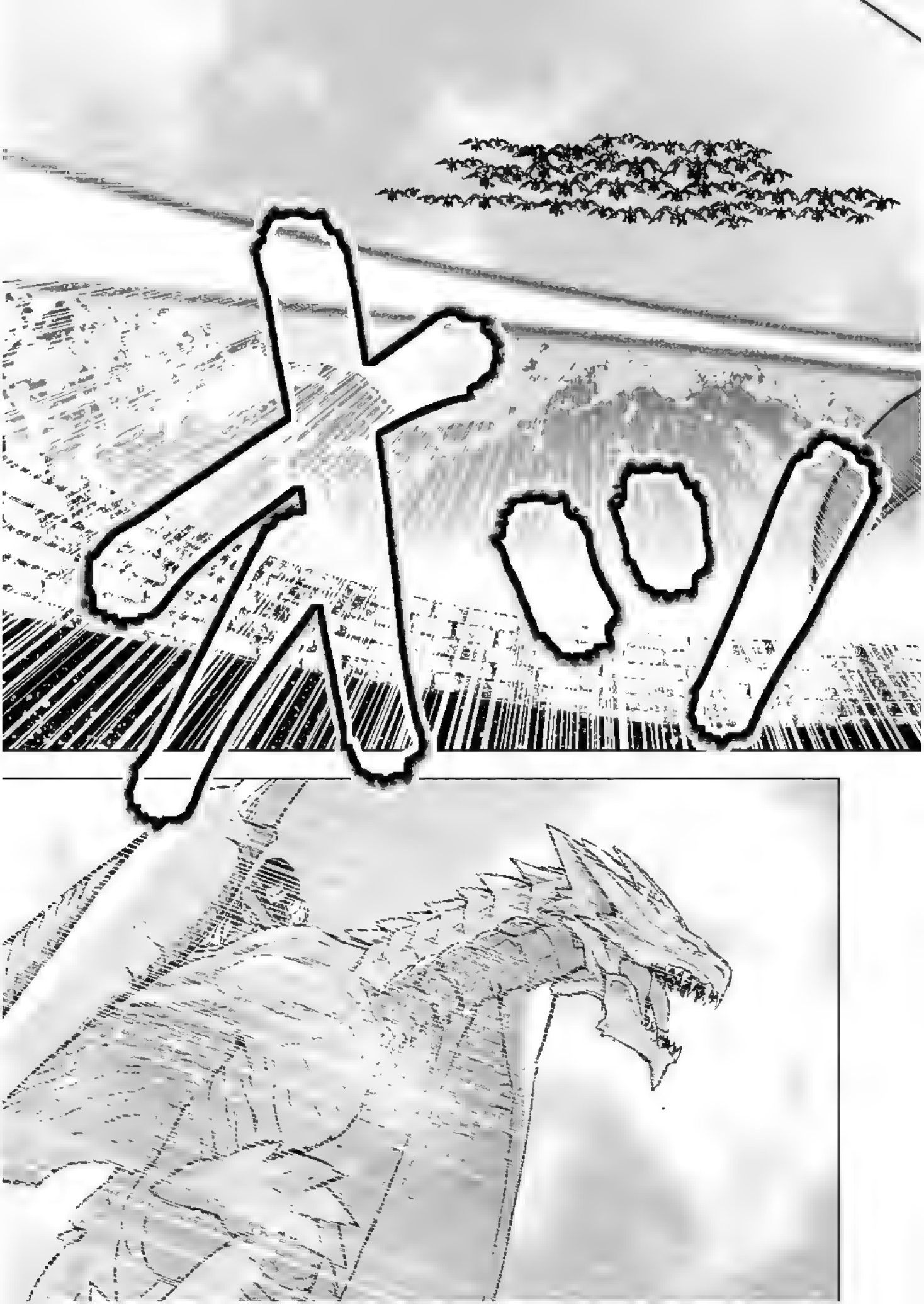
こりゃあ
マズいな…
マズい？
何がマズいと
いうんだ？
他に敵の
援軍は？
『無明』よ
……
…ありません
ならばこれで
詰みだ
まずはあの
小うるさい射手を
黙らせろ
仰せのままに
『魔弾』

さあ
同志よ！
撃って撃って
撃ちまくれ
天使どもを
一匹残らず
撃ち落とせえええ!!
ドドド

ドドド

なに!?
たった一人で…!?
『竜殺し』
『鉛』



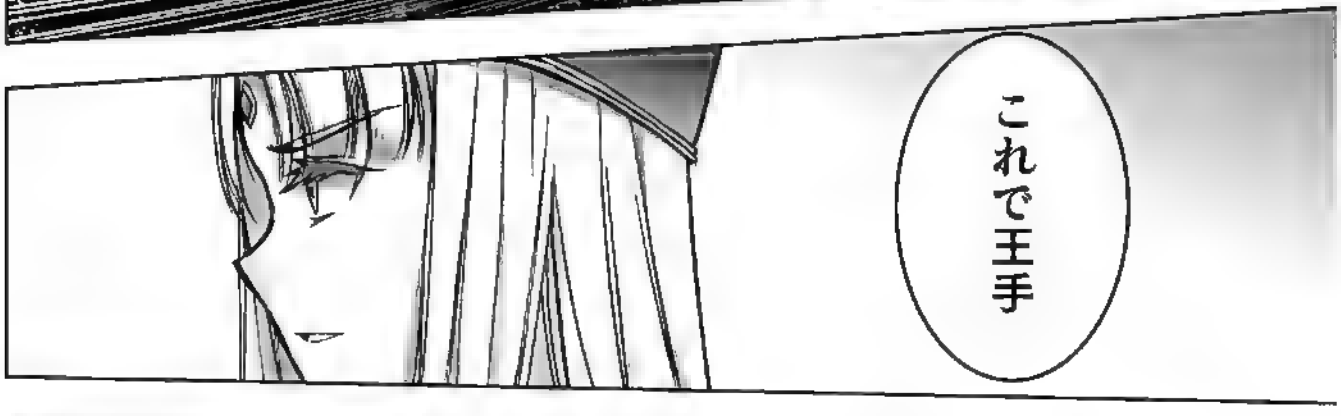

AWOO

これは…
飛竜が次々落ちていく
一体何が起きた！
きゃあああ!!
うあああああ

落ちろ
む？
え？
!?

な
に
ドドド

ズズズ
よし
では最後だ
『跳ね駒』
『炎髪』
…
止めを
刺してこい



Step.51 End

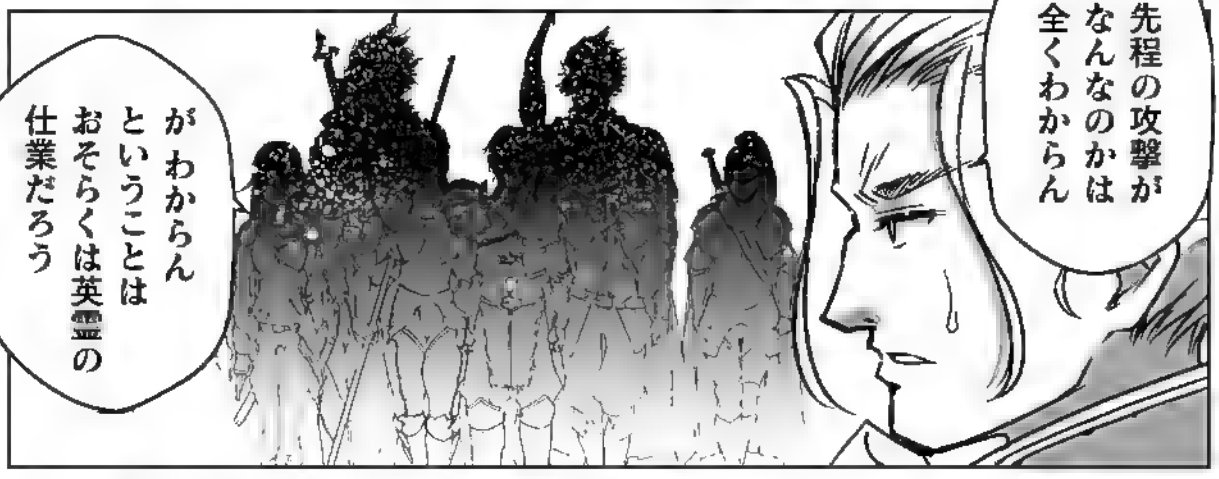
Step.52

…

御無事ですか
お師匠様
…一体
何が起こった
…？
!!

エレン
無事
だったか
ええ下が
森だったのが
幸いしました
落下しながら
木々の木の葉や
ツタを操り
網を作って…
主殿
先程のは
一体…？
みんなー
久しぶり
エレン
ミオ
リルさん！
再会を喜びたい
ところだけど
そんな状況じゃ
ないみたい

ゴオオオ
兵の方は
やっぱり全滅よ
ご主人様


先程の攻撃が
なんなのかは
全くわからん
がわからん
ということは
おそらくは英霊の
仕業だろう

矢を
撃ち落とした
者
竜を
落とした者
馬車を
落とした者

それぞれ
方法が
全く違う
からには
それぞれ
別の英霊の
仕業だと
考えるのが
自然だ

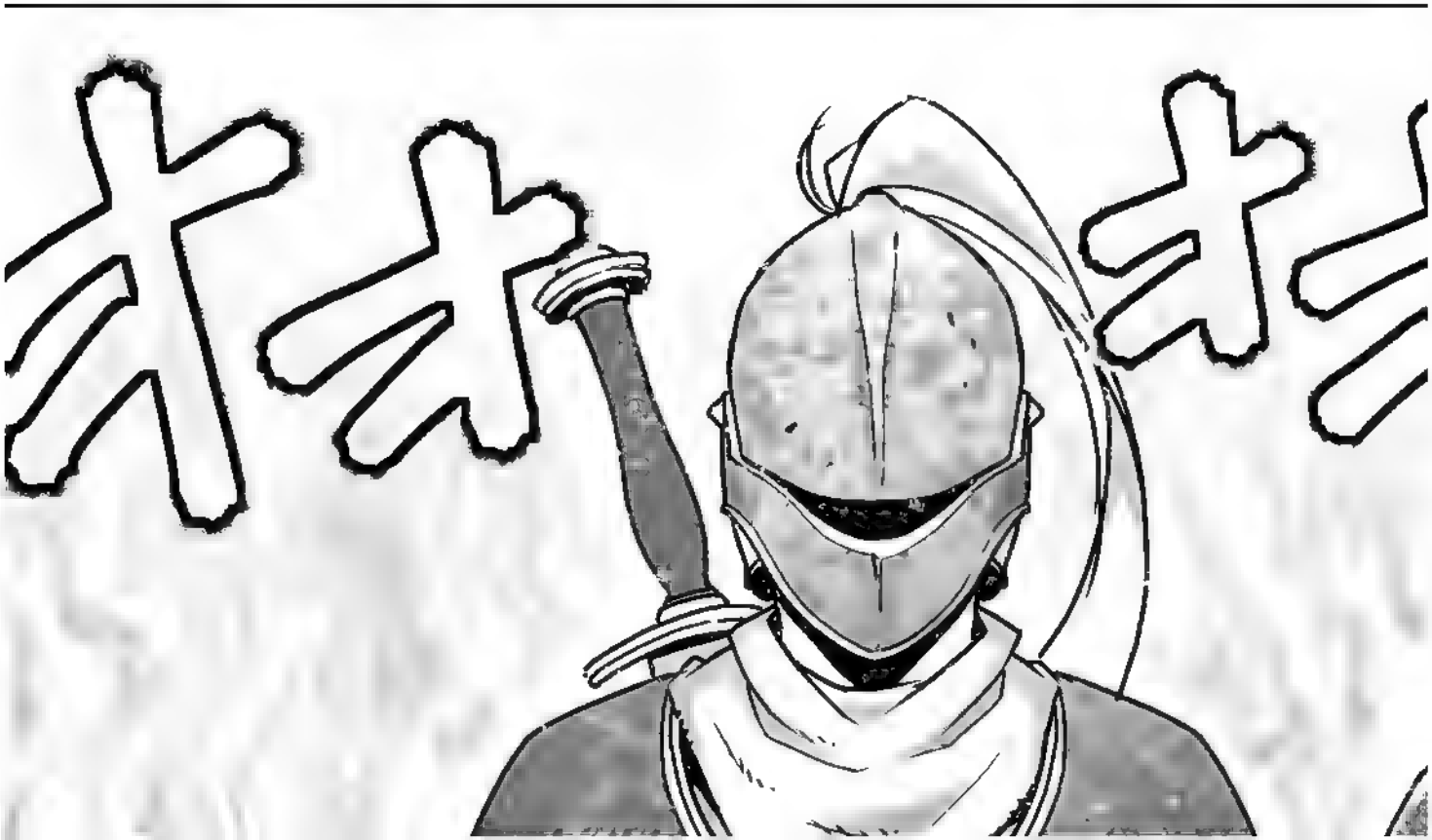
いずれにせよ
馬車も兵も落ち
これ以上の
援軍もない
はっ
ひとまず
迷宮に戻り
体勢を立て直すぞ

……

!?
一体
何事だ!?
?

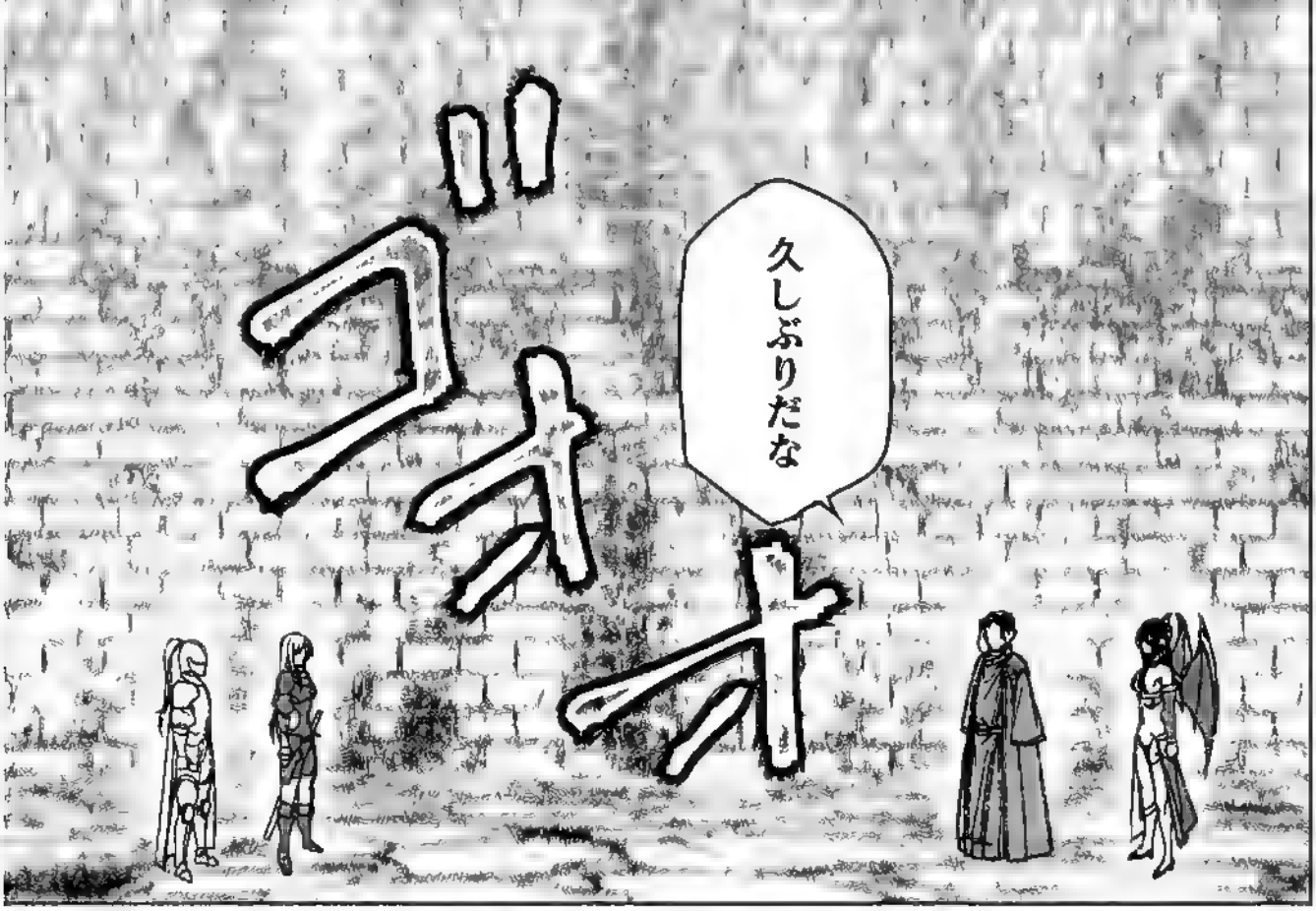
!?

敵襲だと…!?



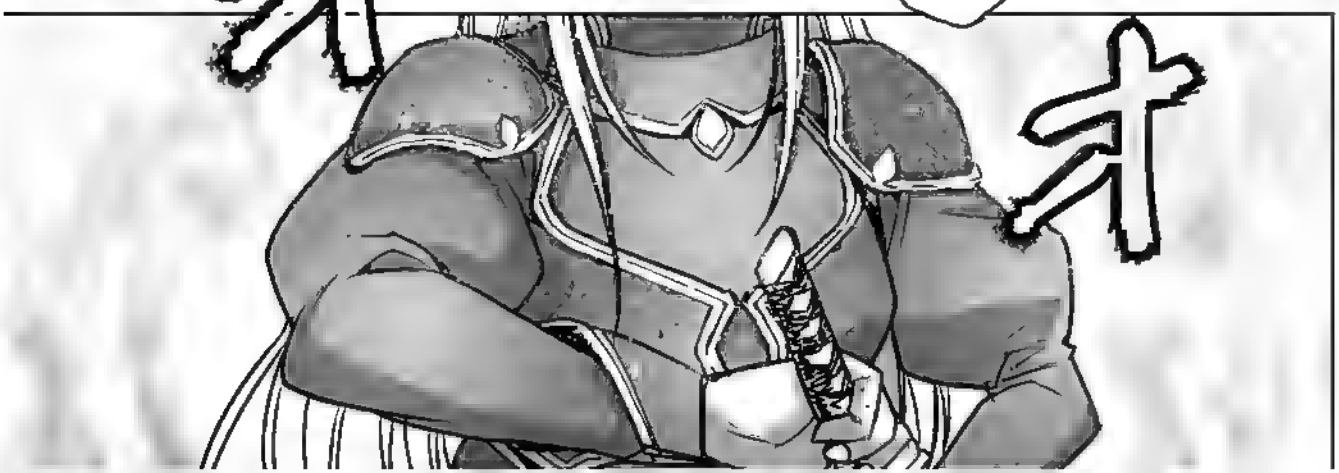
転移不可能な
迷宮最深部に転移し
燃えるはずのない
石壁をも焼く…
まさに人智を超えた力と
言う他ない…

これがメリザンドが
死せる英雄から生み出した
『英霊』の力なのか!?


久しぶりだな

ユニス

随分…
様が変わったな

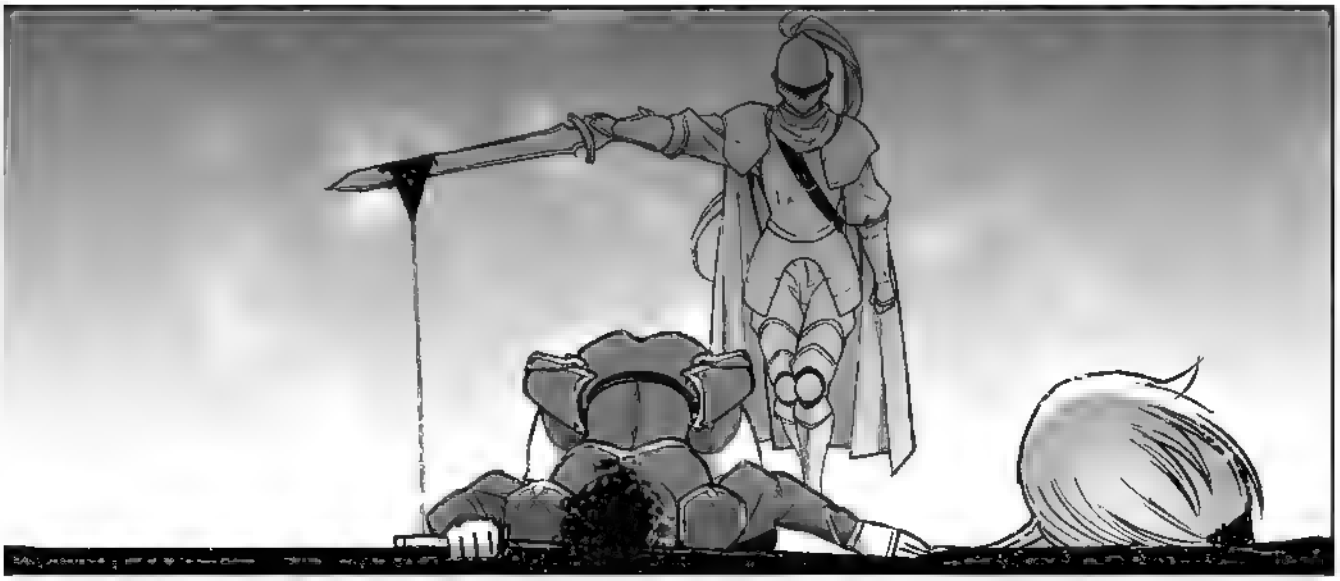


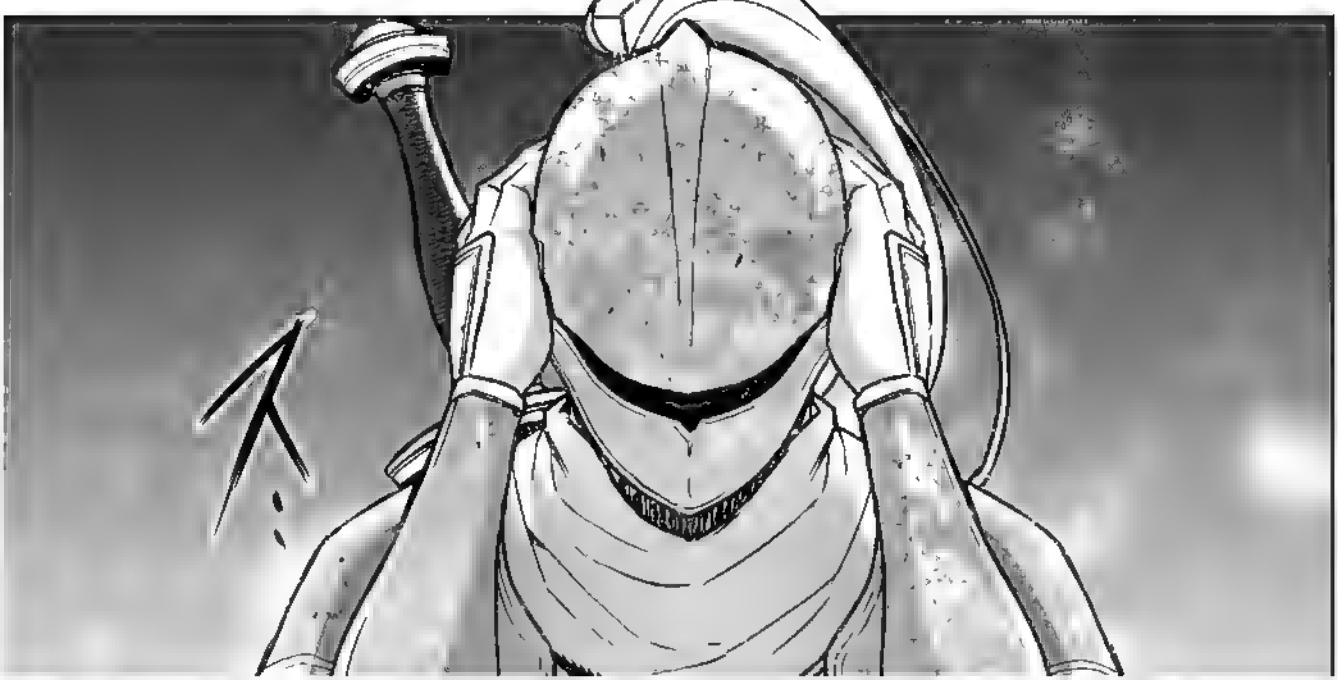
お前の最後の言葉は
覚えているぞ
ゴオオオオ
…言われたとおり
信じてやる
ガ…ハ…
スウ…

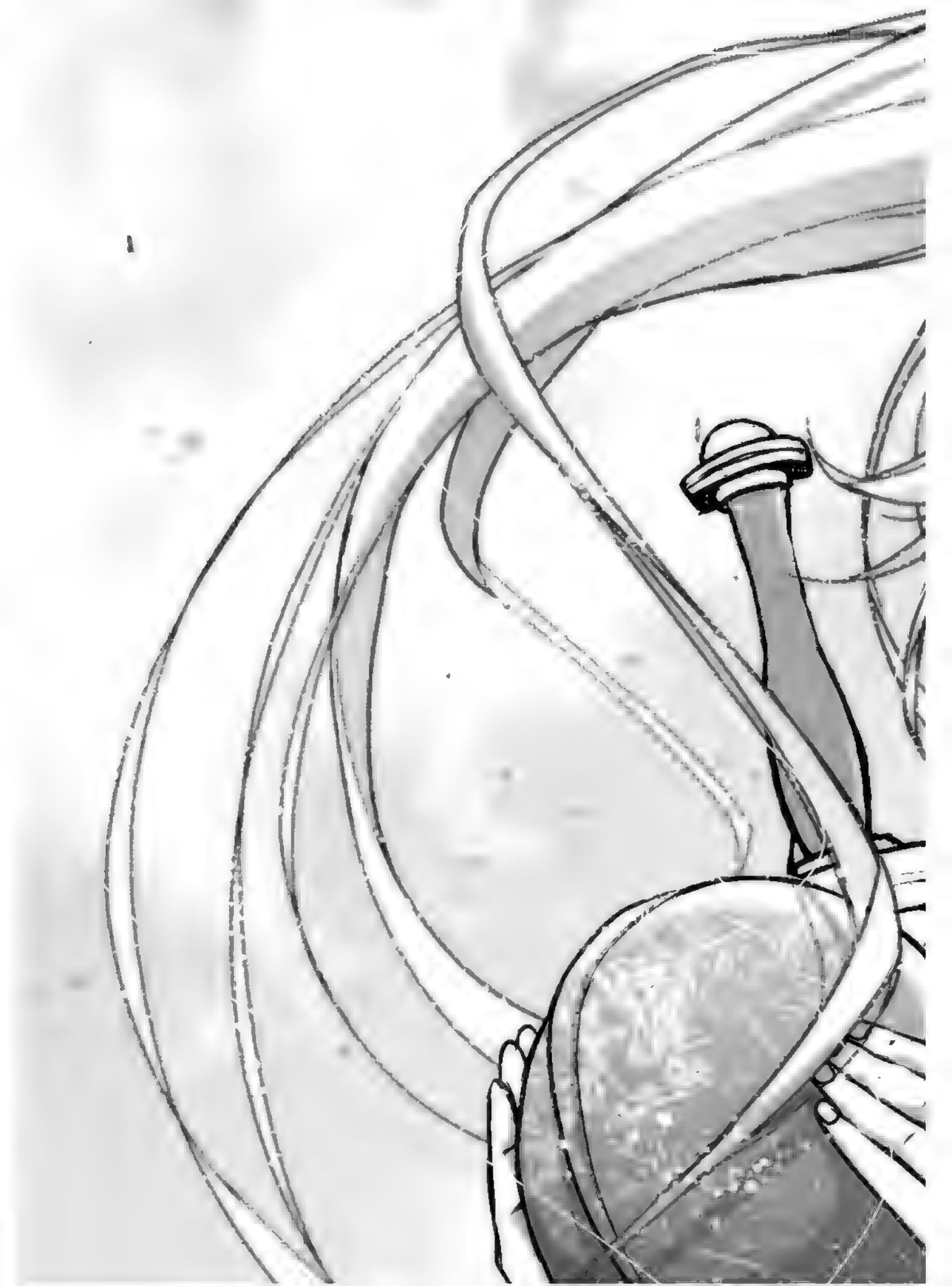
ドゴォ

ゴゴゴ
お師匠様！
オウル！

……ふ
ふ…
!?
ガバッ



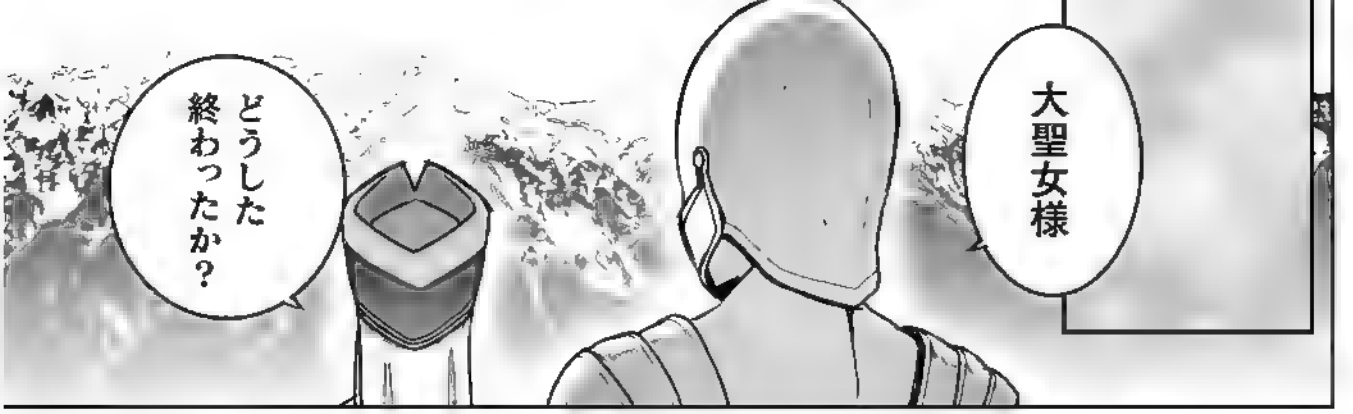


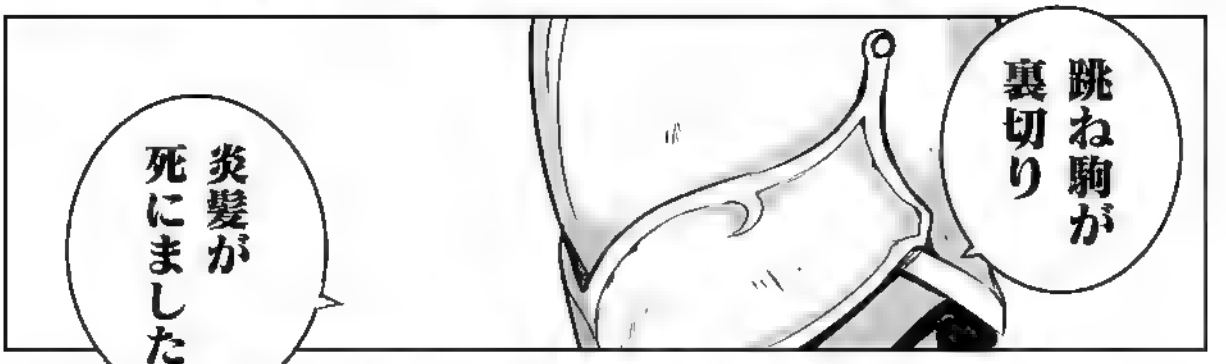


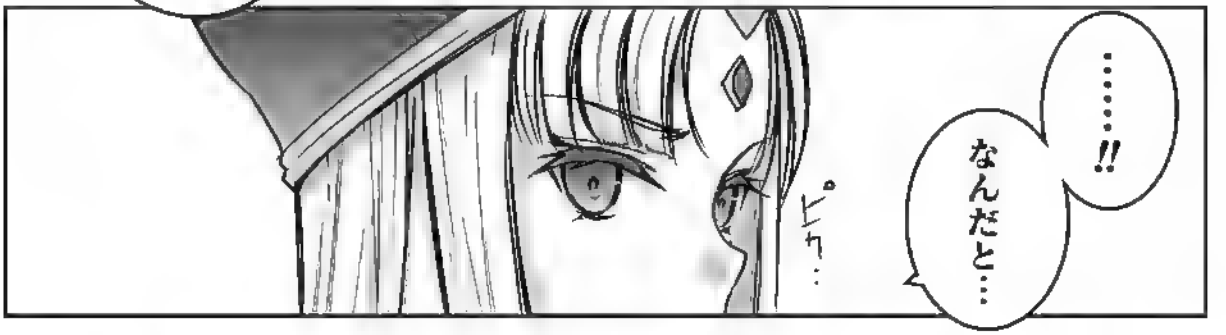
Step.52 End

…よく
わかったね？
Step.53
ユニ…
…ス殿
あ…
ゆにすー

わからいでか
誰のために
こんなことを
していると
思っておるのだ
ただいま…
とりあえずさ
久々にオウルの
作ったパスタ
食べたいな
ユニス～!!!
わっ！
リル!?
お帰りなさい
ユニス
ユニス～
く、くるしいよ
リル…
ん
ただいま
スピナ
あれ？
ちょっと感じ
変わった？
…はい


大聖女様
どうした
終わったか？


跳ね駒が
裏切り
炎髪が
死にました


……!!
なんだと…
ピク…

跳ね駒が
鉛の妹と
いうことは
わかっている
鉛の能力で
自我を
保っていた
ことも…
だが天の力は
そんな甘い
ものではない
自我を保って
いようが
関係なく
命令に逆らう
ことはできない

まさか
「誓い（グッシュ）」を
守り通したと
いうのか…
ギリ…
そんなこと
有りえん……
有り得るわけが
ない……！

色々聞きたい
ことはあるが…まあ
とりあえず食え

いや流石に
そんなに
食べきれないよ！

ほか　ほか

愚か者
これは俺と
マリーの分も
入ってる

あ…
うん

食べるか喋るか
どっちかにしろ

おうるさま
まりーちゃん
おなかすいたの！

マリーは
相変わらず
だねえ

それにしても
ちょっと
意外だったな

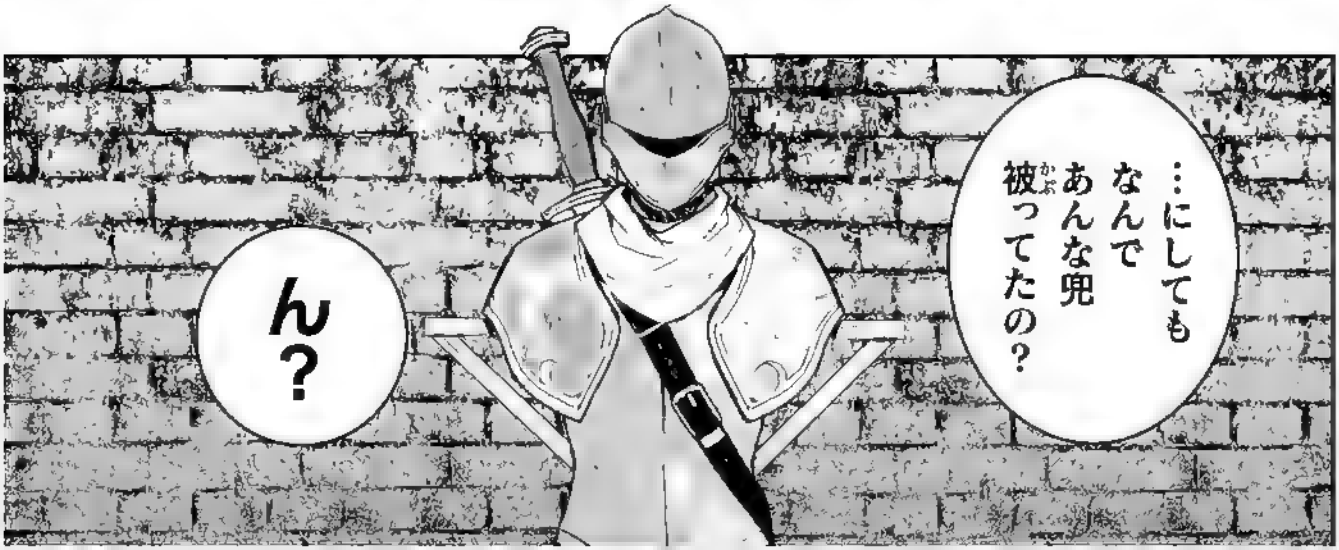
オウルがあんな
ストレートに
あたしのこと
信じてくれると
思わなかったよ

そうするのが
一番可能性が
高いと踏んだから
そうしただけだ
それで
失敗したら
保存しておいた
死体に
押し込んで
再洗脳する
プランBが
しっかり
用意してあった
勘違い
するな
にやにや
ああ
あの死体は
もう要らんから
処分していいぞ
畏(かしこ)まり
ました
ぺこり
待って あたしの身体
燃やさないで―!?
勿論(もちろん)
冗談です
冗談に
決まってる
だろう
ガーン
それは…その
感傷…とか?
…はっ
…っていうか
あの身体残して
おいたのそんな
理由だったんだ…
どんな理由だと
思ったんだ?
くっ なんか
腹立つ!

ゆにす
まだおなか
すいてるの？
え？
はっ
…
…あげる
あ…
えっと…

ぽん
ありがとう
でも
大丈夫だよ
ごしごし

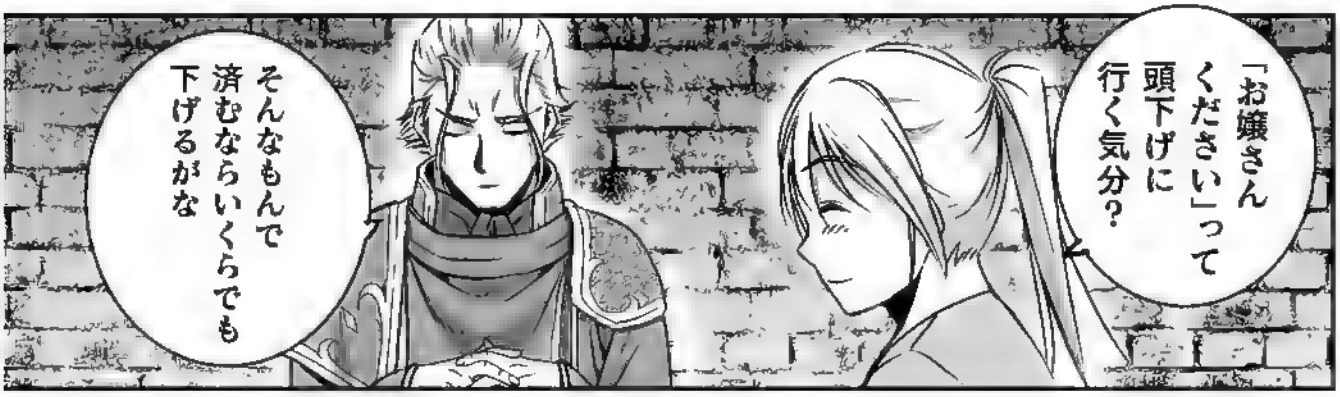
…胸がもう
いっぱいだから…
あたしは
帰ってきたんだ…


…にしても
なんで
あんな兜
被ってたの？
ん？

基本 英霊って
あんまり表情
変えたりしないし
あたし
演技とか苦手だから…
表情がバレないように
被ってたんだよ
ということは
やはり英霊として
呼ばれた時点で
自由に動けたのだな
殺気が全くないから
妙だと思っていたが…
お兄様の
能力は
『鉛』
「ありとあらゆる
術を無効化し
その存在を否定する」
法術も例外なくね
うん…
お兄様が
協力して
くれたから
それのおかげで
あたしは
聖女の法術に
縛られず
自由に行動する
ことができたの

空飛ぶ馬車を
落としたのは
ザイトリードか
しかしそうなると
奴も自我を
残しているのか？
うん

あと
お父様もね
ただ二人とも
オウルのこと
倒す気満々だから
味方はしてくれないと
思うけど
…


「お嬢さん
ください」って
頭下げに
行く気分？
そんなもんで
済むならいくらでも
下げるがな

まあそれよりも
問題は…
英霊は何人
いるんだ？

あたしを
入れて
七人
でそれぞれ
一人一個ずつ
特殊能力
っていうか…
「法術」が
使えるみたい
あたしは
コレ
!?
『跳ね駒』って
呼ばれてた
結界があろうと
どんなに遠くだろうと
一瞬で移動する能力
相手の魔力を辿って
魔術での転移先を
割り出すことも
できるみたい

まあ 自分とせいぜい
もう一人を運ぶくらいで
精一杯なんだけどね
むちゃくちゃだ…
魔術の原理を
根本から
覆している…
お兄様が
『鉛』で
あらゆる
術の無効化
お父様が
『竜殺し』で
相手が竜なら
無条件に
殺せるんだって

…本人が
為しえた
偉業に関連
するのか

理力は
理を促し
世界を
形作る力

つまり
法術とは
理を…法則を
作る術か
物が地に
落ちるように…
ウォルフは
竜に負けない

魔術は理を
捻じ曲げるが
魔術には魔術の
法則がある
「魔の理」とでも
呼ぼうか
魔術でできることと
できないことは
はっきりしており
多くの制約と常識がある
…法術はそれらを
捻じ曲げ捻じ伏せる
ということか
他の四人の
能力は
はっきりとは
わかんない
一人はさっき
殺しちゃったから
あと三人

『魔弾』
『無明』
『不死身』

あたしが
殺したのは
『炎髪』って
呼ばれてたよ
ふむ
この
辺りだな…
叙事詩(サーガ)によれば
…魔弾と無明は
恐らく
『魔弾の射手』
レックス
『不死身』は…
…わからんな
『盲目』の
ガイウス
だろう

暴君から民衆を守った
体制への反逆者として
知られ
「民衆を起す者」
レックス・ザ・ウェイカー
と呼ばれている
百発百中と
呼び称された
弓の技量は古今に
並ぶ者はいない
本名 ガイウス
元は多少腕が立つ程度の
剣士だったが
事故により視力を失う
絞首刑に処された聖人を
槍で突いて死んでいるか
確かめるよう命じられ
流れ落ちる血によって
視力を取り戻したことから
英雄としての人生が始まる
策略によって
妻を射殺してしまい
最後は自分自身を
射て死んだ
晩年は聖者の弟子に
石を投げつけられ
彼は抵抗することなく
死を受け入れた

ねー
あたしが
殺した
炎髪は？
本名
ヨハネ・アーク
卓越した魔術と
優れた剣の腕を
持つ万能型の英雄
誰よりも敬虔（けいけん）で
誰よりも慈しみ深い
聖人であり
短い生涯で
何百人もの
死霊術師（ネクロマンサー）を
討ち果たした

しかしその強さと
民衆からの人気を
危険視した王族により
彼女自身が邪悪と
認定され
火刑に処される
英雄だけあって
ロクでもない
死に方ばかりね…

ねえ「英霊」って
英雄が死んだら
なるんだよね？
今更 何を
言ってるんだ
いや
『不死身』って
死なないなら
どうやって
英霊になったん
だろうって思って
…！
…不死身の英雄
というのは
存外少なくない
む…
しかし
本当の意味で
死なぬ英雄は
いない

英雄の能力は
基本的に神が
授けるものだ

その神でさえ
滅ぶというのに
英雄が滅ばない
わけがない

大抵は
なんらかの
弱点があり
そこを突けば死ぬ

足首だったり
背中だったり
なんらかの
誓約を守ること
だったりする

だがそれは
あくまで
地上の法則

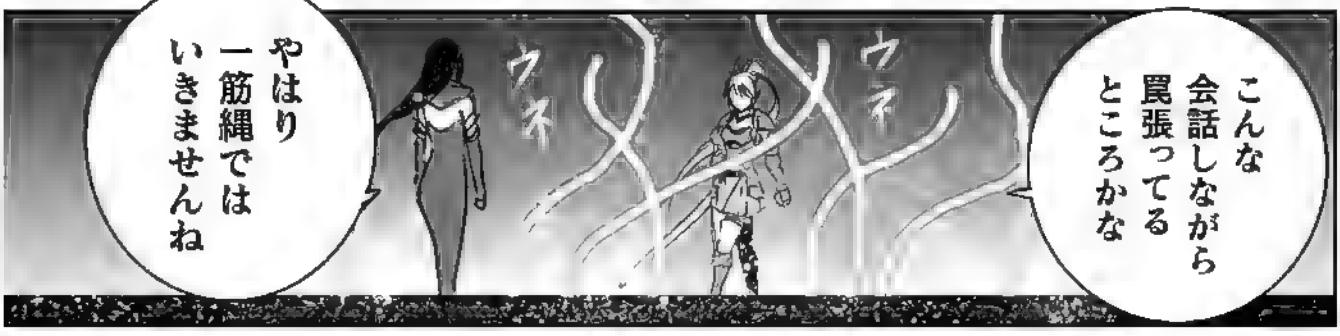
神が与えた力を
地上で磨き抜き
天へと上った
英霊たちが使う
法術はそれより
一段上の能力だ

英霊となった
不死身の男は
果たして
死ぬのか…？

「親睦を深めましょう」
なんてスピナから
言ってくるなんて
珍しいと思ったら…
…はい
こういうこと？

おっかないなあ
私がこのような化け物になったことは説明したはずですが？
怖いのはそこじゃないんだけどね

では
怖いというのは
「顔」でしょうか
いやそこは
もっと違う
しいて
言えば


こんな
会話しながら
罠張ってる
ところかな
ウネ
ウネ
やはり
一筋縄では
いきませんね

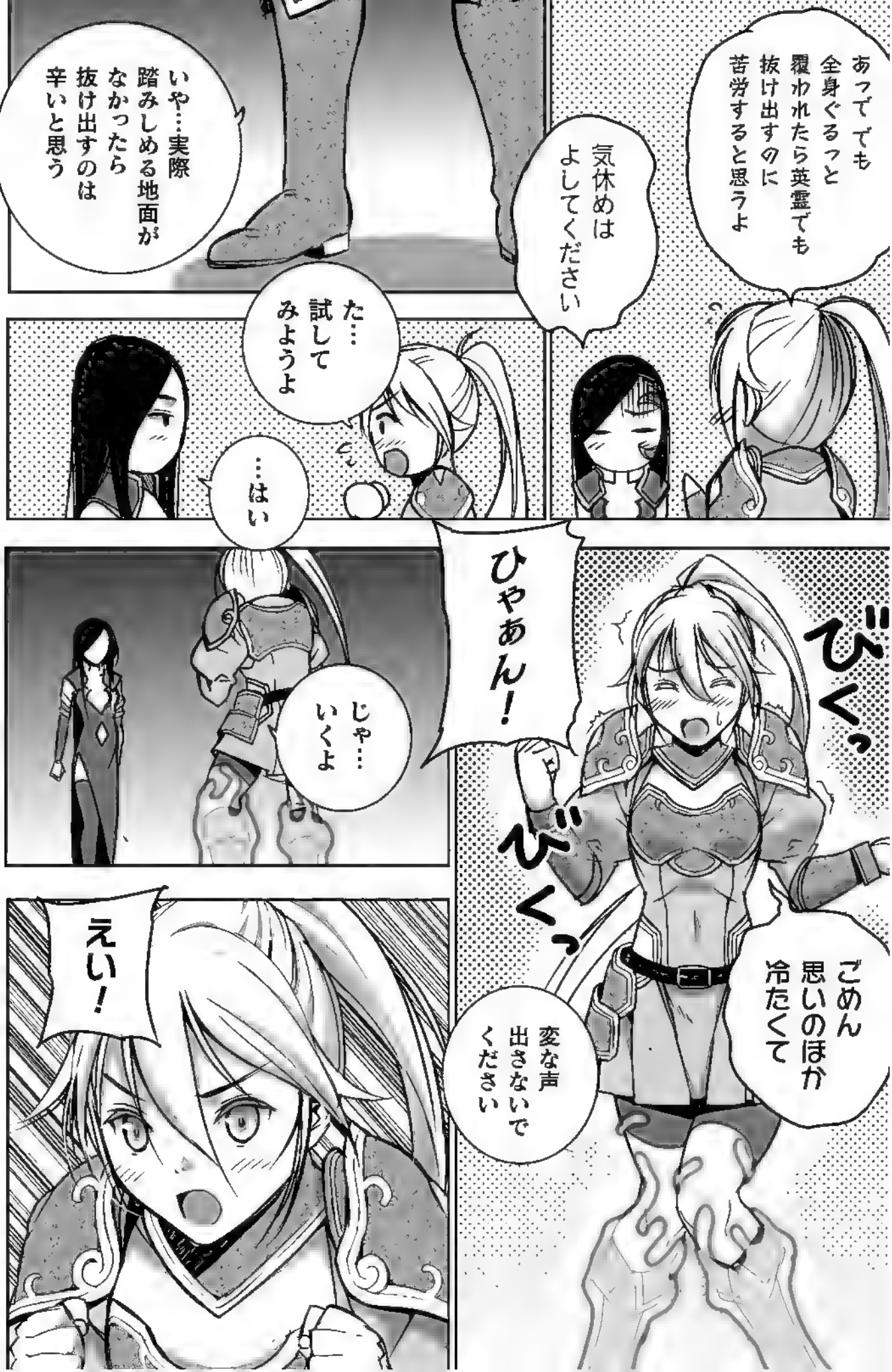
ですが

魔法陣…！
スライムで
作り上げた
捕縛魔法陣です
魔術で
動きを止めつつ
同時に物理的にも
搦め捕ります
ふーん
なかなか
いい手だね！
でも
え…

ン オ ン
え…？

とりあえず
誰でもできる
一番シンプルな
対処法してみた
誰でも
できる…
ですか
英霊なら
大体これ
くらいは
…ね

触りさえすれば
なんとかなると
思ったのですが
……
浅はかでした
ジュル
ジュル
いや触るだけじゃ
駄目なんじゃ
ないかな？
私は生き物
からでも
魔力を吸い取る
ことができます
……
それ以前の
問題でさ
英霊って
魔力ないん
だよね
あ


あってでも
全身ぐるっと
覆われたら英霊でも
抜け出すのに
苦労すると思うよ
気休めは
よしてください
いや…実際
踏みしめる地面が
なかったら
抜け出すのは
辛いと思う
た…
試して
みようよ
…はい
じゃ…
いくよ
ひゃあん！
びくっ
びくっ
ごめん
思いのほか
冷たくて
変な声
出さないで
ください
えい！

ん…あ
これ思った以上に
踏ん張りがきかないっ
じゃあちょっと
本気で動いてみるね
はい
ぐにゃ
つにゃ
じゃる
はっ！
…えい！
ん…！
く…！
んんっ…！
ふくっ…！

二人とも
がんばってるー？
…
何してるの
あんたたち…

あ

ち 違うよ!?
そうです これは 練習していた だけで…
…

…大丈夫よ
わたし 淫魔だから そういうのも 理解あるから
誤解を解くのに 実に一刻もの 時間を要した
Step.53 End

Step.54
カッ
カッ
カッ
カッ
ゴゴゴ

準備と覚悟は良いか？
これが恐らく最後になろう
存分に楽しめ

じゃあ まず
わたしからね
オウル おっぱい
好きでしょー？
お待ち
ください
大きさであれば
私も負ける気は
いたしませんわ
ぼよん
大きければ
いいという
わけではない
が……
ぷるん

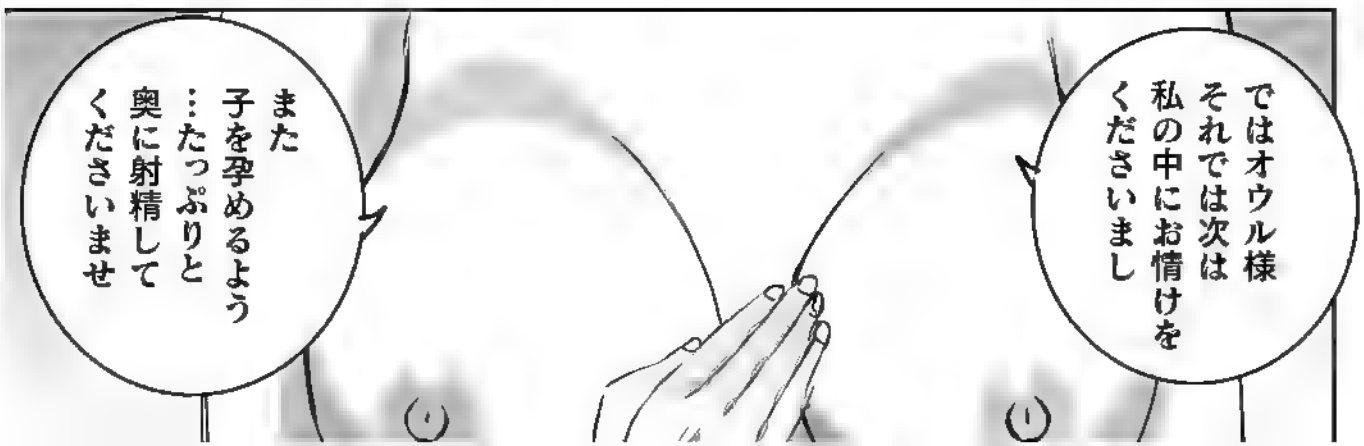
わたしもー！
ばんっ
お二方には敵いませんけれども……
じゃこっちのお宝は頂いちゃうよ
金額分しっかりご奉仕させて頂きますね魔王様
あは♡おっきくなったよ
ペロペロ

ぬぷぷ
最初にお腹にもらうのはわたしだからね
バサ
ムニュ
では私はこちらから…
!?
怖がらなくていいわ…
ギシ
んっ
ギシ
あっ
ギシ
全部私がしてあげるから…
…ねアイン…
ぬぷ
ぬぷ

似てた？
いや
全然
オウルは
気づいてない
みたいだったけど
ラズもあの時
処女だったんだよ
必死にお姉さん
ぶってたけどさ
……！
そうかそうか
それは良く
教えてくれたな
……褒美を
くれてやろう
え…ちょオ
あああああっ！
ビッ
ビッ
ひっ！
ああっ！
そら淫魔の
大好きな精を
たっぷりくれて
やるぞ
ズチュ

ちょ
これ
しゃれに！
ああああああ
ひいいいい
ま
まって
な
ハア
ビグッ
ハア
ビグ
ハア
ビグ

よし
次は誰だ？
ザワ ザワ
うぐぐん？


ではオウル様
それでは次は
私の中にお情けを
くださいまし
また
子を孕めるよう
…たっぷりと
奥に射精して
くださいませ

ああっ オウル様
オウル様ああっ
そこ いいですっ
はぁぁ

ぱぁんっ♥
ぬちゃ
ぐちゃ
ぱぁんっ♥
ぱぁんっ♥
あ♥
あ
もっともっと
奥にくださいませえええっ！
出すぞ
オリヴィア
……！
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ギッ
ギッ
ギッ
ギッ
グッ
いきまぁぁ

びゅぐ
びゅぐ
びゅぐ
びゅぐ
はあああ
どびゅ
ぬちゃ
ぬじゅ
ぬちゃ
ぬじゅ
ぬじゅ

ハア
ビクン
ハア
ビクン
ハア
ビクン
ハア
ビクン
次は…
…エレン
セレス
来い
む……
こいつも
一緒か
黒の氏族の
長(おさ)もですか…

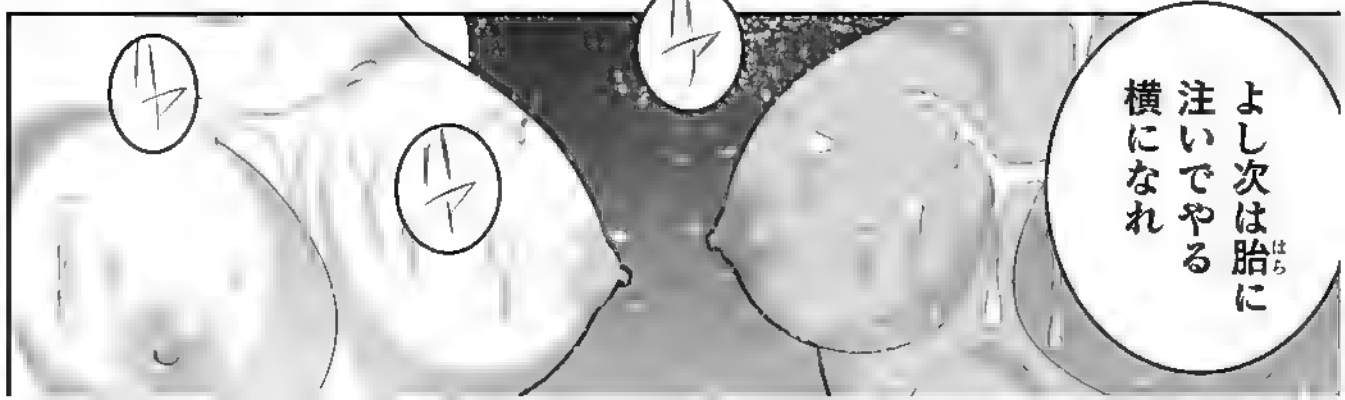
お前たちは
共に我が部下と
なったのだ
二人とも……
いや 氏族丸ごと
同様に俺の女だ
遺恨は忘れ 最大限
俺に尽くせ
そうは言うが
主殿
確かに私は主殿を
敬愛し恩義も強く
感じているが
全てを捧げたと
いうわけではない
その命ばかりは
承服しかねるぞ
やはり黒の氏族は
その程度の
了見なのですね

なんだと?
オウル様
私はあなた様に
身も心も捧げると
決めました
私の長い
長い生
それ全てを
あなた様に捧げ
お仕えいたします
我が名
白のセレスティア
の下に
な…!
貴様!
アールヴにとって
真名がなんであるか
わかっているのか!?

ええもちろん
ですがエレン様は
どうぞお構いなく
黒アールヴに
そのようなこと
できるわけが
ありませんものね？
…！
…安い挑発だ
が 乗ってやる
良いか
勘違いするな
別に貴様と
張り合って
するわけではない
弓取る者として
主殿以上に
誇りをもって
お仕えできる
方はおらん
主殿の偉大さは
誰よりこの私が
評価している
それを証立てる
為であって
けして貴様に
張り合うわけでは
ないのだからな！
ばんっ
はいはい
ごほん
…まあその
そんなわけで
だ
黒のエレオノラ
この名をもって
主殿に仕える
ことを誓う
不祥の身では
ありますが
どうぞよろしく
ご寵愛のほど
お願いいたします
うむ

では忠誠の証としてまずはその胸で奉仕をしてもらおうか
大きさでは私の勝ちだな
大きければ良いというものではありません
やはり柔らかさこそ女性らしさであるとは思いませんか？
にゅち
にゅち
にゅち
どちらが上などということはない
別々の能力を持ったものが協力し合うことこそ肝要であるとなぜわからぬ
どちらか片方ならばいずれそれに飽きるしかし二つ揃わばその可能性は無限だ
それがゆえに俺はお前たちに共に仕えよと命じたのだ
にゅち
にゅち
…主殿がそう仰るならば仕方ないな
そうですね全てはオウル様の為に
そう…主殿のん…む
為…にん…
ペロ
ペロ
ペロ

く…！
にゅちにゅちにゅる
むにゅ
出すぞ…！
んあ！
はあああ！
とびゅるるる


よし次は胎に注いでやる横になれ
ハア
ハア
ハア

ぁぁぁぁ
ぁぁぁ……っ
はぁぁんんぁぁん……っ
ズチュッ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あ……主殿お……もうもう限界だ……
オウル様どうかどうか情けを…
次は…
…そうだな
ビクン
ビク
ビクン

アレット
ベティ
クロエ
デルフィナ
どうした
何を呆けている？
ふむ…確かに
こうして名を
呼ぶのは初めてだな
しかし部下の名前
くらい把握している
うむ
あ あの……まさか
名前を覚えて
頂けているとは
思わなかったので
オウル様
お口を拝借
いたしますね
では
ご奉仕させて
頂きまーす！
オウル様
失礼いたします
エレン様には
及ばぬとは思いますが
誠心誠意ご奉仕
させて頂きます
オウル様
これお好き
ですか？

よし順番に相手してやる
あぁ
ひぃ
ぁあ
うはぁ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
パン
パン
パン
パン
パン
はぁぁ
ん
あん♡

さて
オウル殿

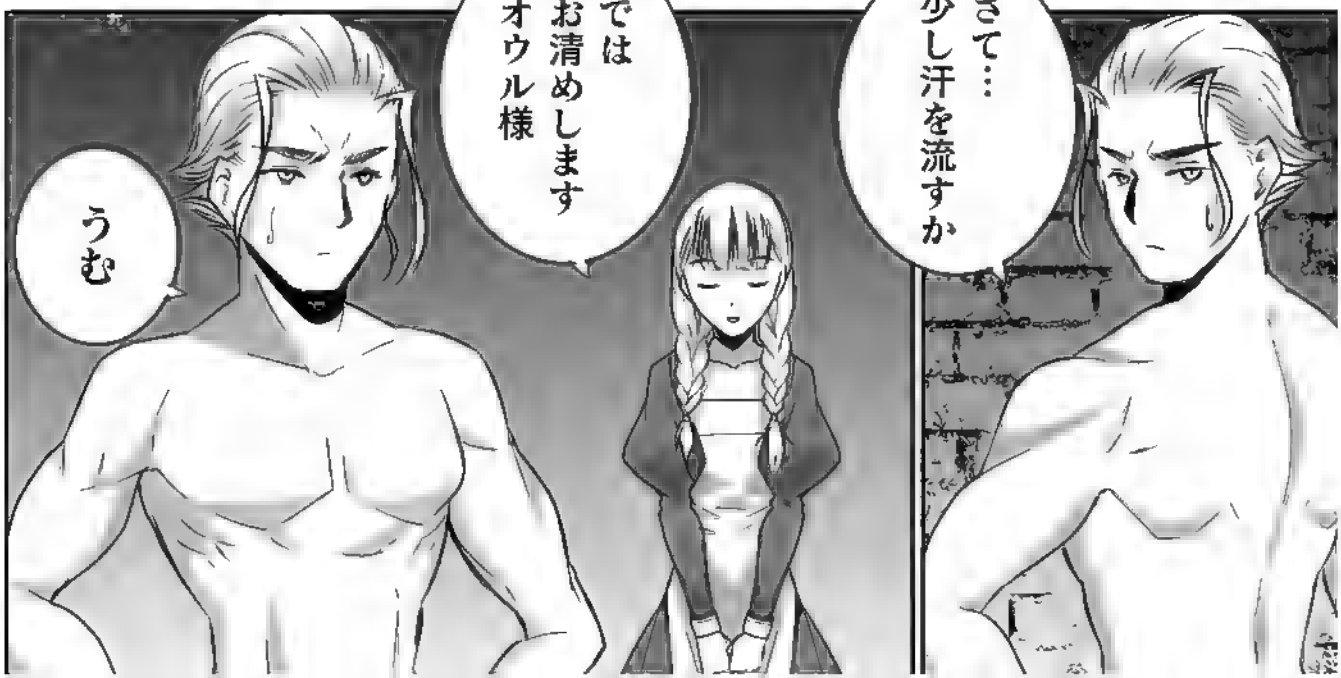
さぁ
お前たちも主に
操(みさお)を捧げるんだ
オウル様 我ら一同
エレン様と同じく
あなた様に真名を捧げ
従う所存です

この身すべて
我が主オウル様に
お捧げします

半分くらいは
処女ですから
どうぞお楽しみ
くださいね
ご主人様
…！
ほう…
Step:54 End

Step.55
あ
あ
あ
あ

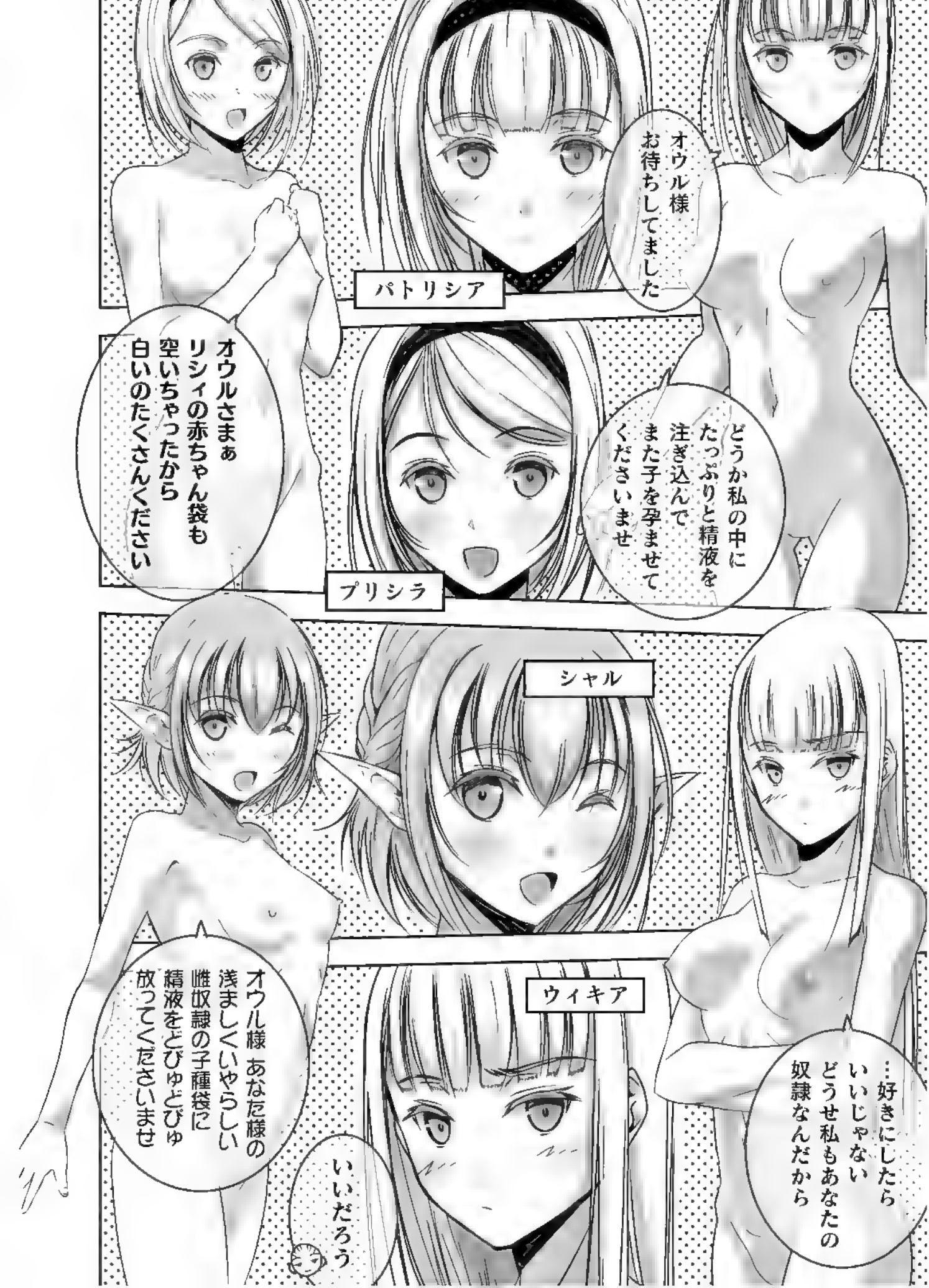
あっ
ズッ
ズチュ
ズチュ
あっ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ


さて…
少し汗を流すか
ではお清めしますオウル様
うむ

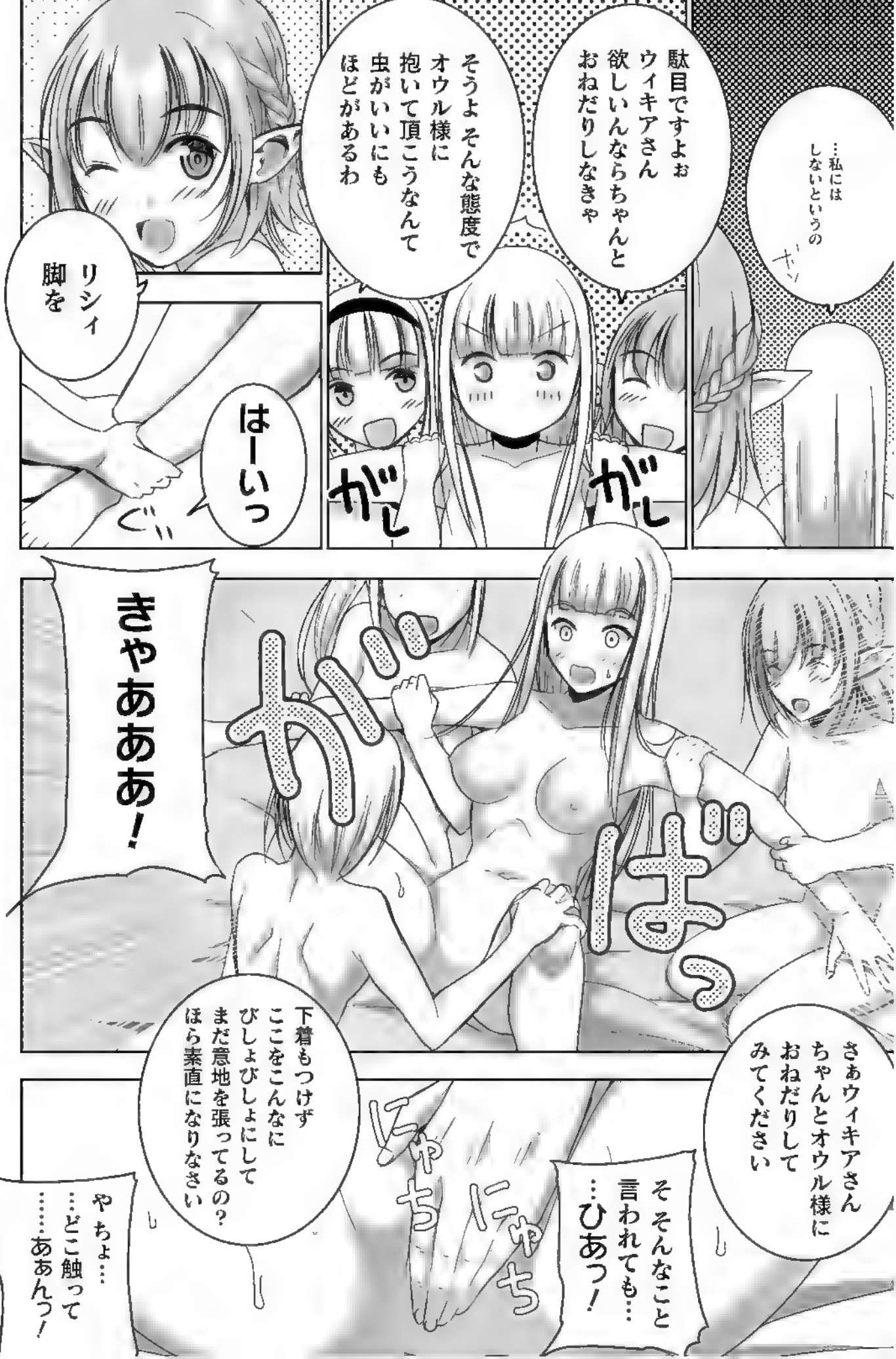
ふう…

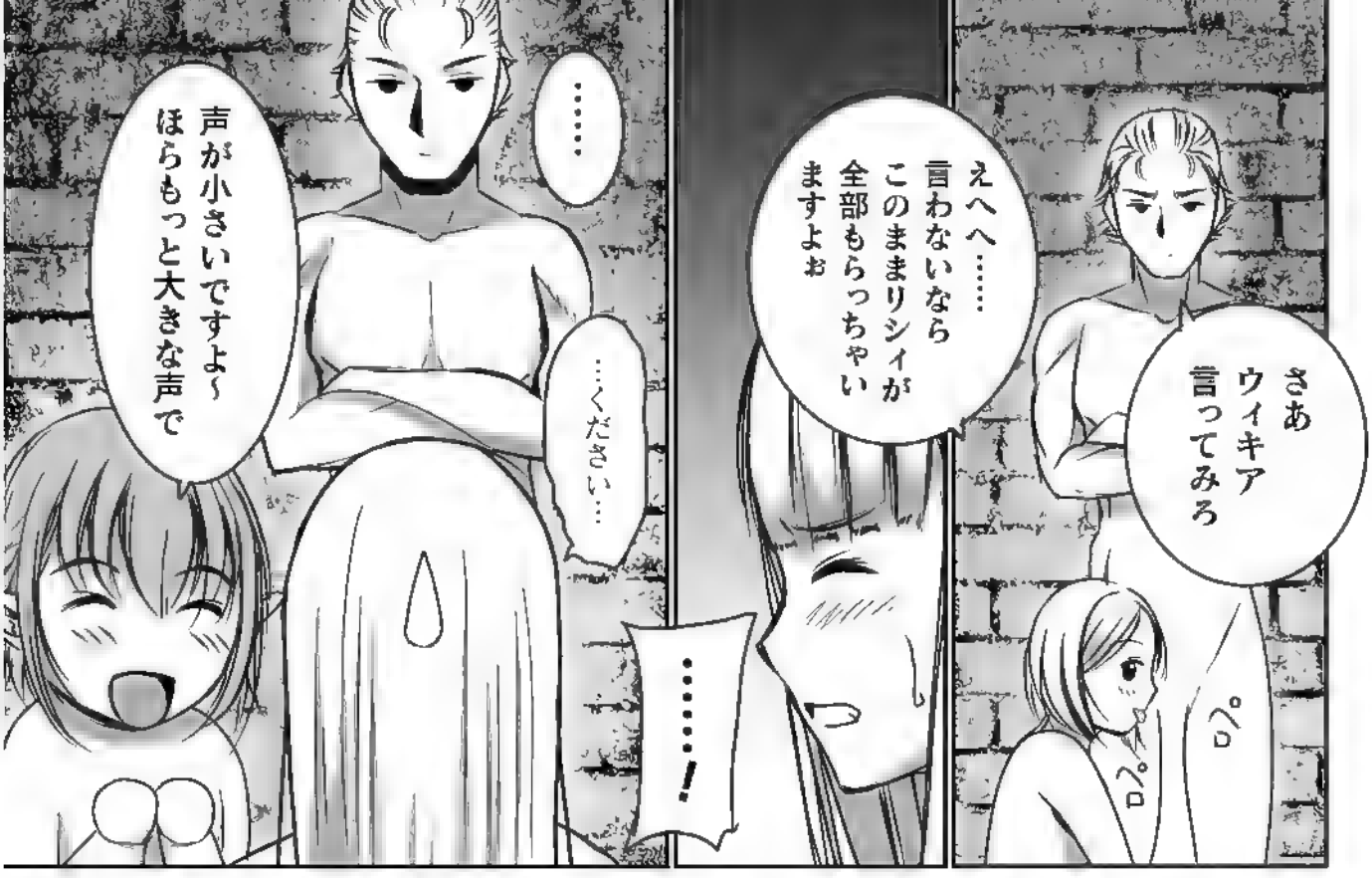
お背中
流します

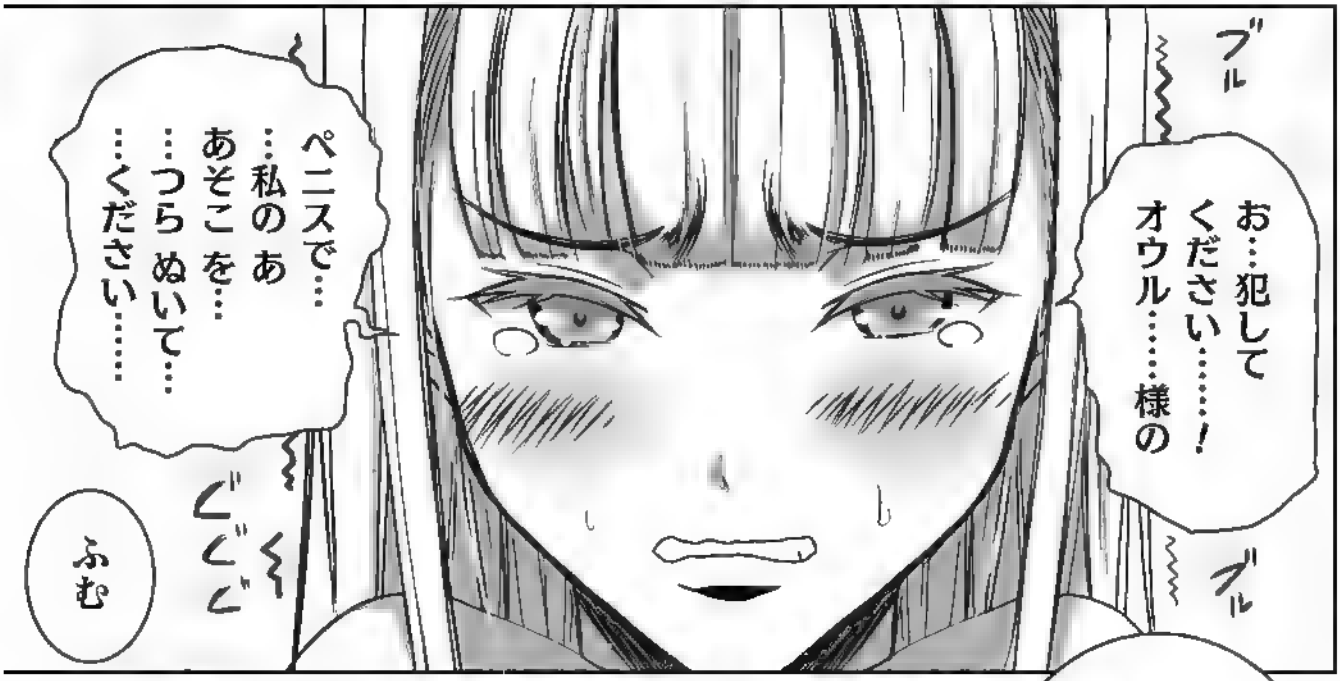
失礼
いたします
次は腕を
お清めしますね
こちらも
洗いますね
失礼します


オウル様
お待ちしてました
パトリシア
どうか私の中に
たっぷりと精液を
注ぎ込んで
また子を孕ませて
くださいませ
プリシラ
オウルさまぁ
リシィの赤ちゃん袋も
空いちゃったから
白いのたくさんください
シャル
…好きにしたら
いいじゃない
どうせ私もあなたの
奴隷なんだから
ウィキア
オウル様 あなた様の
浅ましくいやらしい
雌奴隷の子種袋に
精液をどぴゅどぴゅ
放ってくださいませ
いいだろう

ではそこに
尻を並べろ
ああ…
オウル様に
全部見られてる……
あああぁぁっ！
入ってくる
入ってくるぅ…
はぁあああん…
…おっきいよぉ…
…オウル様の硬いの
気持ちいいよぉ！
…オウルさまので
おなかがいっぱいに
なっちゃってるぅ…
あぁあああぁ
これぇ これが
欲しかったんですぅ！
おちんぽ
オウル様のおちんぽぉ！
きもちいいよぉ……！


…私には
しないというの
ボソ
駄目ですよぉ
ウィキアさん
欲しいんならちゃんと
おねだりしなきゃ
そうよ そんな態度で
オウル様に
抱いて頂こうなんて
虫がいいにも
ほどがあるわ
ガシ
ガシ
リシィ
脚を
はーいっ
きゃあああ！
ぱっ
さぁウィキアさん
ちゃんとオウル様に
おねだりして
みてください
そそんなこと
言われても…
…ひあっ！
にゃちにゃち
下着もつけず
ここをこんなに
びしょびしょにして
まだ意地を張ってるの？
ほら素直になりなさい
やちょ…
…どこ触って
……あぁんっ！


さあ
ウィキア
言ってみろ
ペロ
ペロ
えへへ……
言わないなら
このままリシィが
全部もらっちゃい
ますよぉ
……！
……
…ください…
声が小さいですよ～
ほらもっと大きな声で


ブル
お…犯して
ください……！
オウル……様の
ブル
ペニスで…
…私のあ
あそこを…
…つらぬいて…
…ください……
ごごご
ふむ

…まあ
今日のところは
その程度で
勘弁してやると
しよう
ぐぼっ
ああああ
あああっ！

そんなに中に欲しいのか？
ぐぽぐぽ
ああっ
ああっ
駄目っ 中は
駄目ぇえっ！
……ください…
…っ！ 中に…
…中にオウル様の精液たくさん出してぇっ！
全部 孕してくださいっ!!
よくぞ言った

オウルー！
やーっと順番回ってきたーっ
ばっ
だだっ
元の身体に戻ったよー
……
その……私も一緒で良いのですか？
ナジャ
うんっ二人でオウルにグランディエラ女の良さをたーっぷり味わってもらおっ
え……いいのですか
じゃあ最初はあたしが…だからナジャはさ…
…何を企んでいる？
別に企んでるわけじゃないけどほらほらオウルは横になってー
うむ

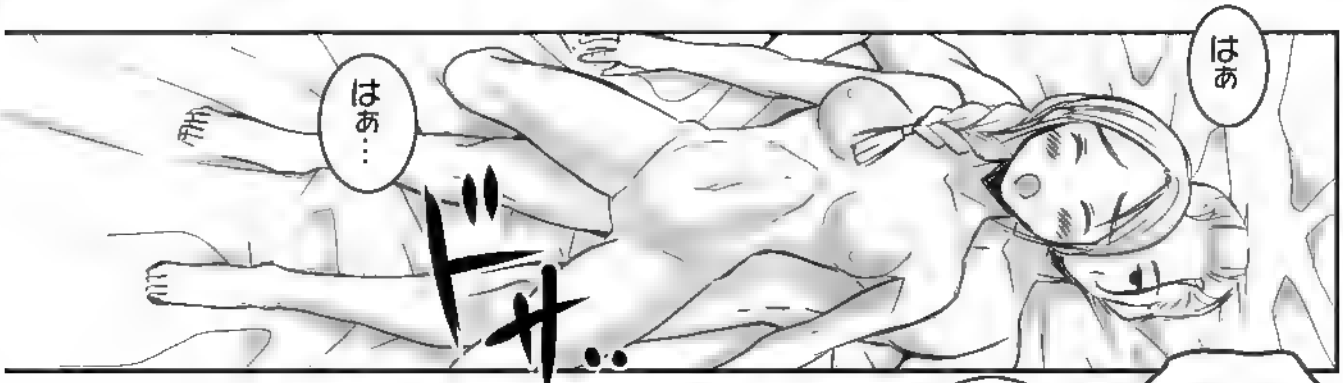
では
失礼いたします
オウルは
こっち…
…お願いね
ふん…
まあたまには
良かろう
気持ちいいよ
オウルう…
ああっ！
ペロ
何をしてる
お前も腰を動かせ
はい！
そこいいよぉ！
気持ちいい
オウルの
べろが…あぁあっ
あっだめえっ！
びんかんにぃっ！
なってる…
…からぁ…

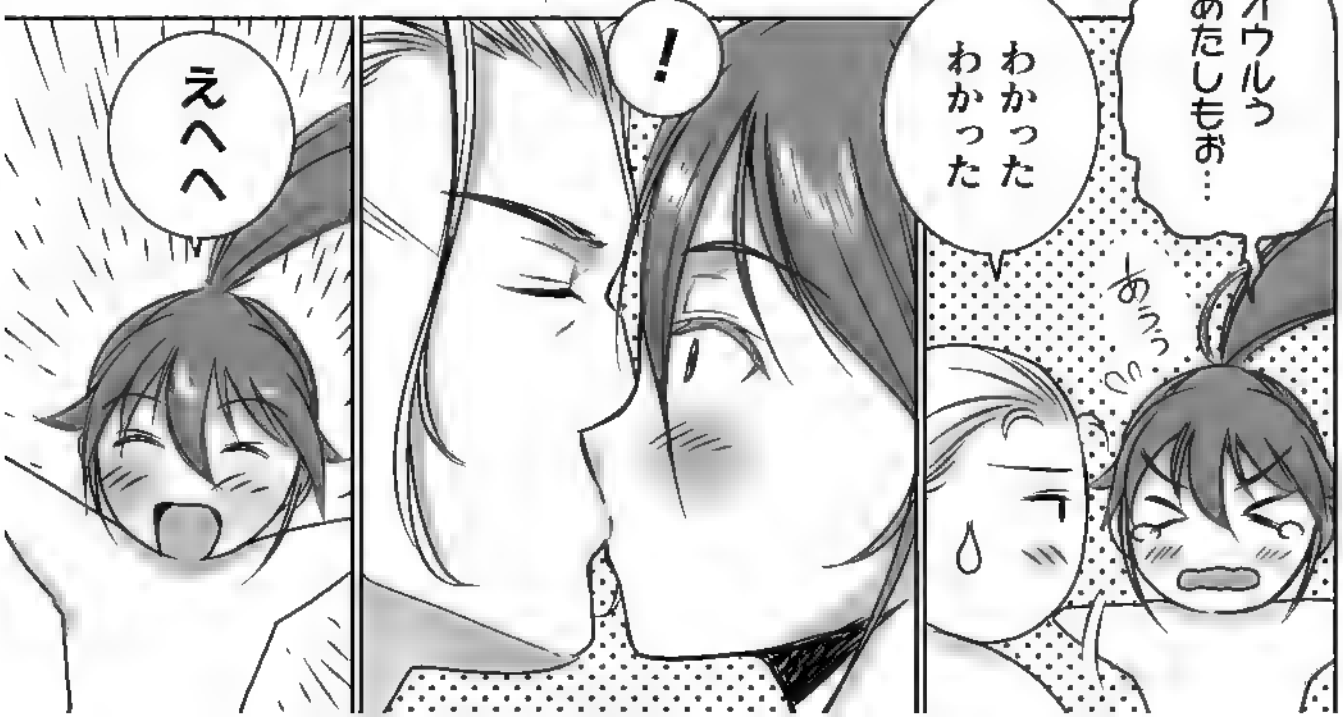
ビクッ
ビクッ
ああああっ
ドクン
ビクッ
んぁああっ!!

で……
なんの良さを
教えてくれるという
話だったかな？
ううう
ずるい…
では次は
私がお世話
いたしますね
うむ
ミオ
オーウールーっ！
あたしもまだ入れて
もらってないよぉ！

えっと
失礼しますね
ぬちゃ
ん……っ
……ふ
ああ……
ゆっさ
ゆっさ
ふああ
ミオって
結構おっぱい
おっきいよねー
ふあっ
ぺろ
ビクッ
ビクッ
ユー……っ
……さん
だ めえぇ……！

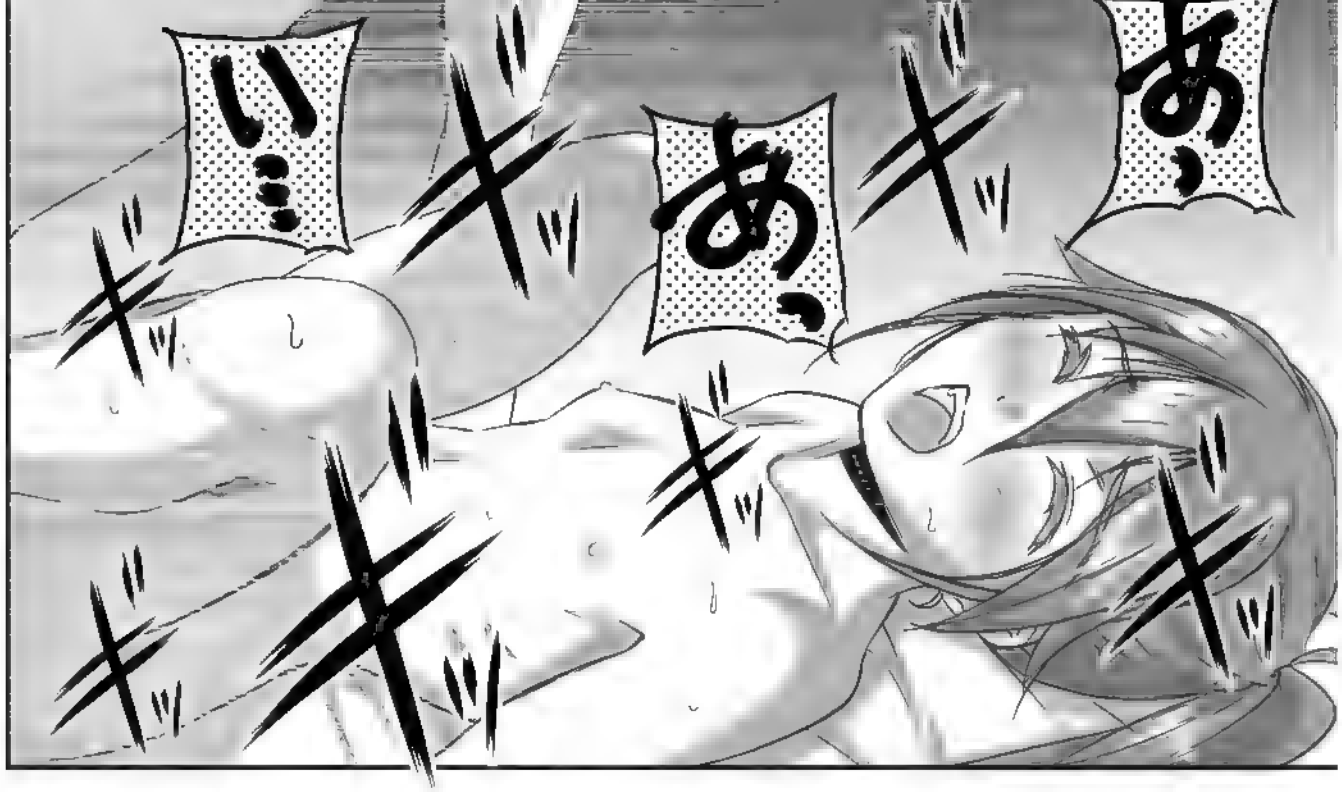
ふぁあ
あんっ!!
ビッ
ビッ
どびゅるる
ビッ


はぁ
はぁ…
ドサ…


オウルう
あたしもお…
わかった
わかった
あうっ
「
！
えへへ

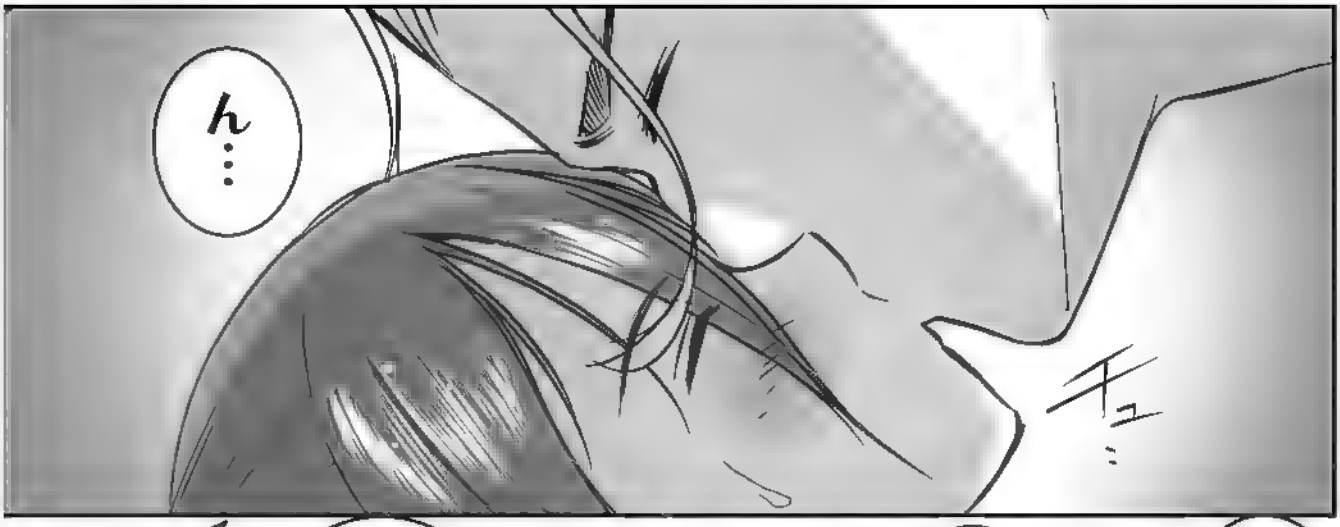
あたしは
こっち向きね
ユニス
この体勢だと
入っているところが
丸見えだな
言わない
でえええ！
ぬぷぷ
んっ
んっ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ

あ
あん
あ
あぁ
オウル♡
オウル♡
…
ぴちゃ


い…
あ、
あ、

うう…
ビク
ビク
ビク

ハア…
ハア…


ん…
チュ

お疲れ様ー
さすがに疲れたな
お師匠様どうぞ
ああ気が利くな
ふむ……美味いな果物の搾り汁か何かか？
いいえ媚薬です
ええいめんどうだお前らまとめて相手してやる

…これで
全ての準備は
整った
この戦は
我々の負けだ
ただしそれは
『無傷では』
という意味だ
いくぞ…
…未来を
勝ち取るために

ボン
ボン
ボン
ボン
天に住む
高慢な者どもに
さあ…
…我が魔窟よ！

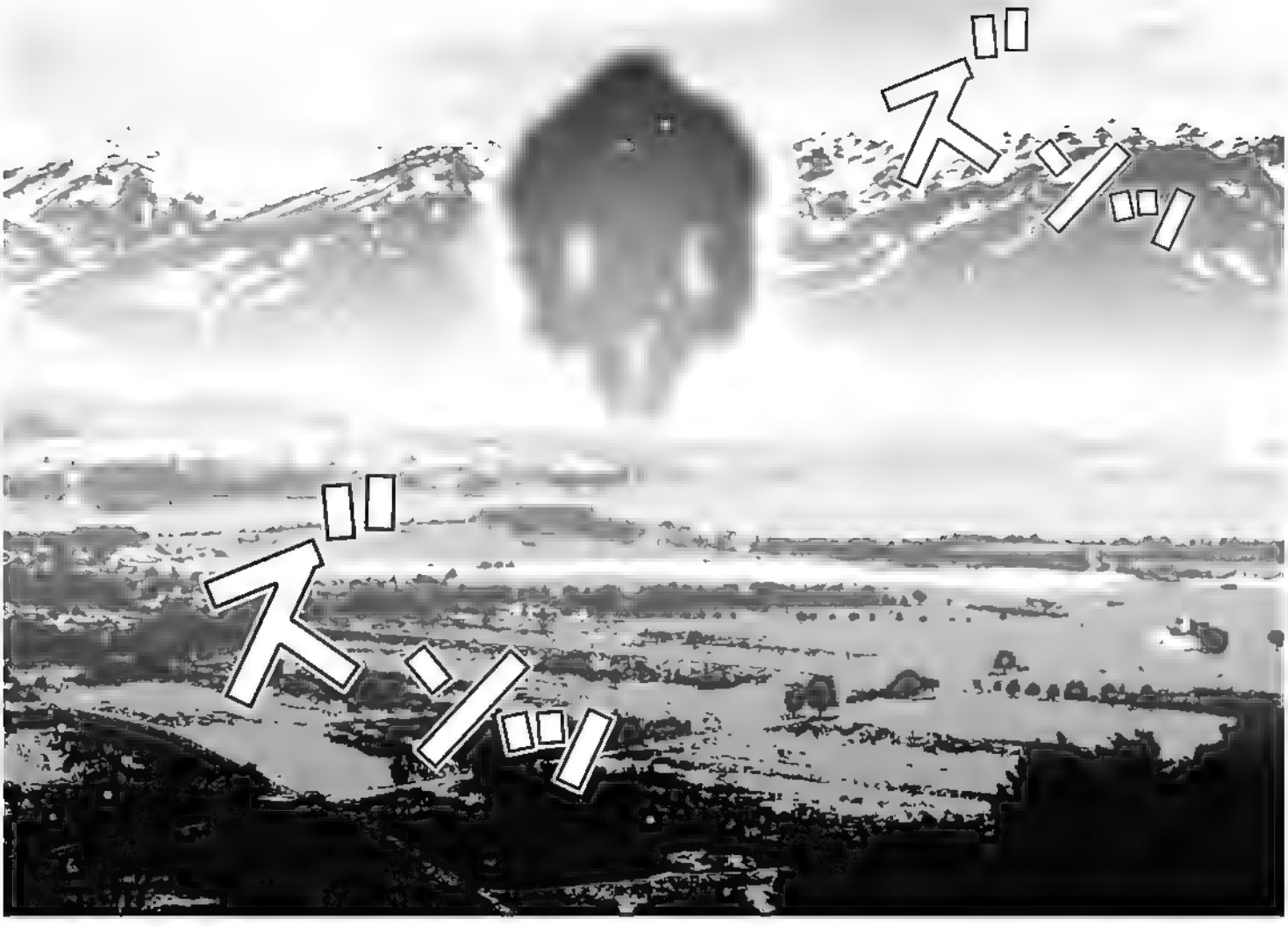
目に物を
見せてやれ！

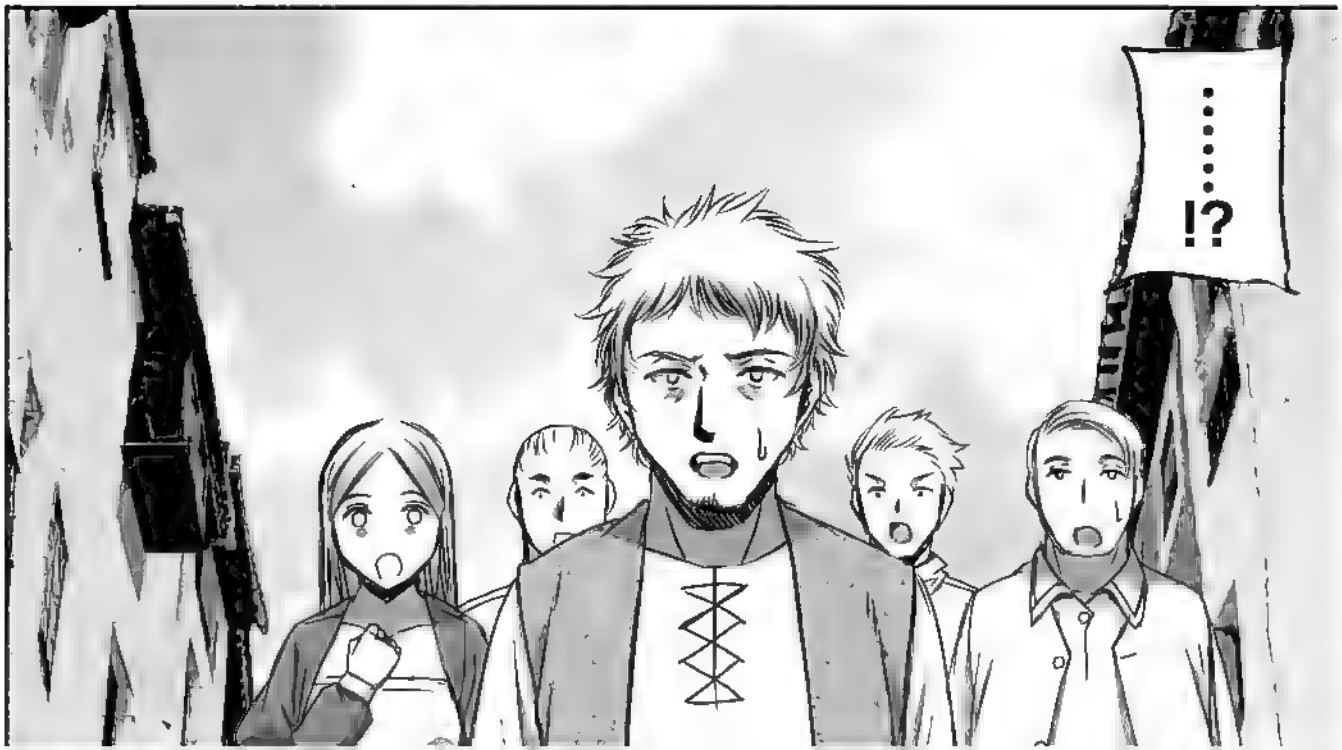
Step.55 End

ズ…ン…
ズ…ン…

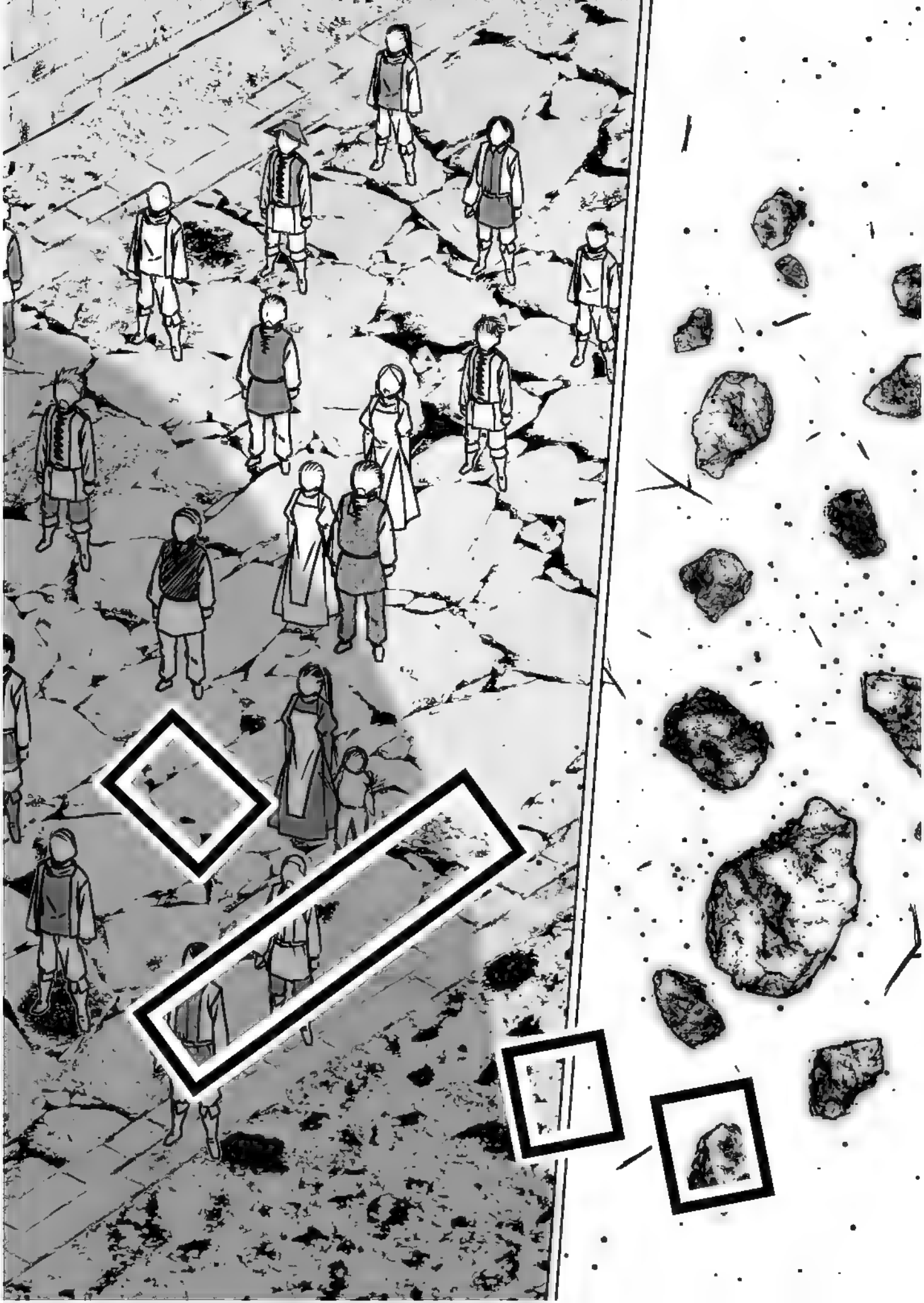
なんだ？
この地鳴り
地震…？
ズ…ン…
ズ…ン…

だんだん
音が近づいて
くる…
お…おい
あれ…
ズ…ン…
ズ…ン…
ズ…ン…

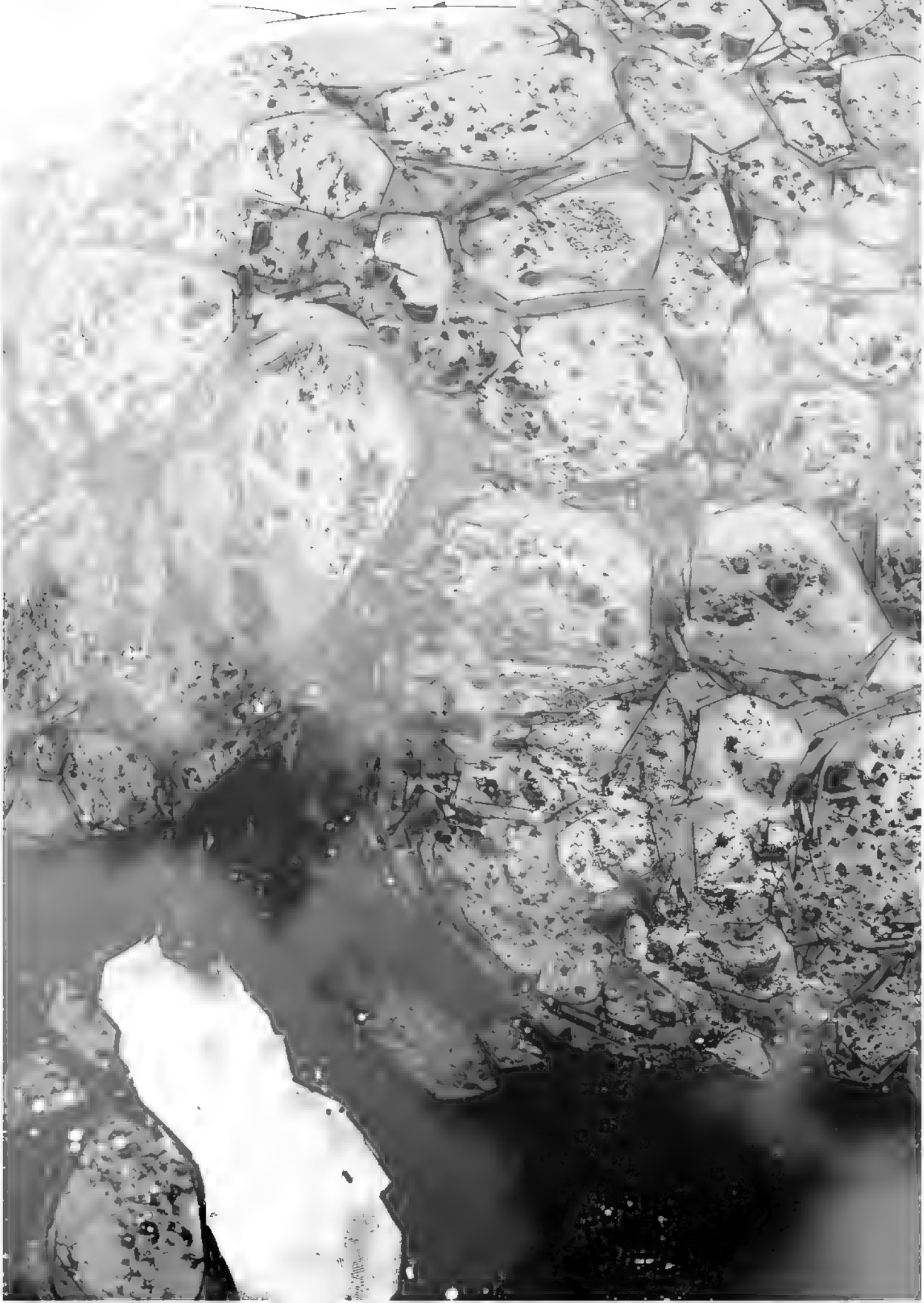

ズ…
ズ…


……!?

ズ…ズズ…
ズ…
ズ…ズズ…



ゴゴゴゴゴゴ……



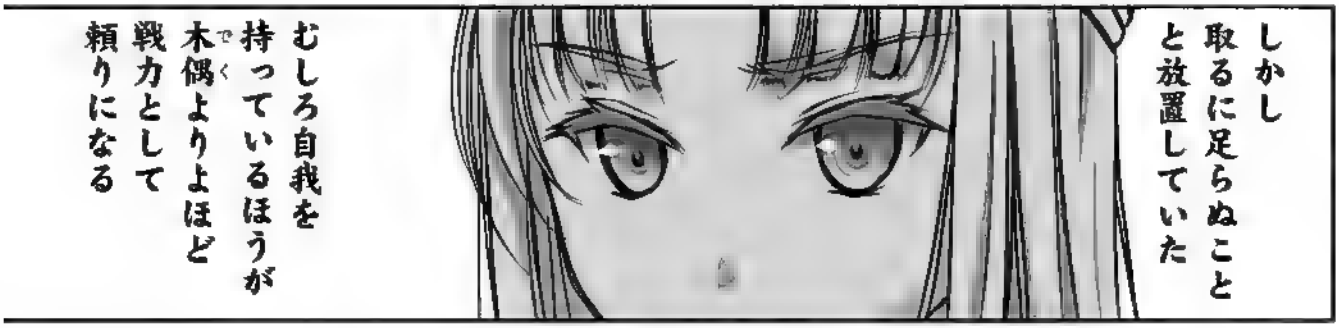
な…
んだ…？
きょ…
ズズゥ…
ズン…
ズン…
巨人…

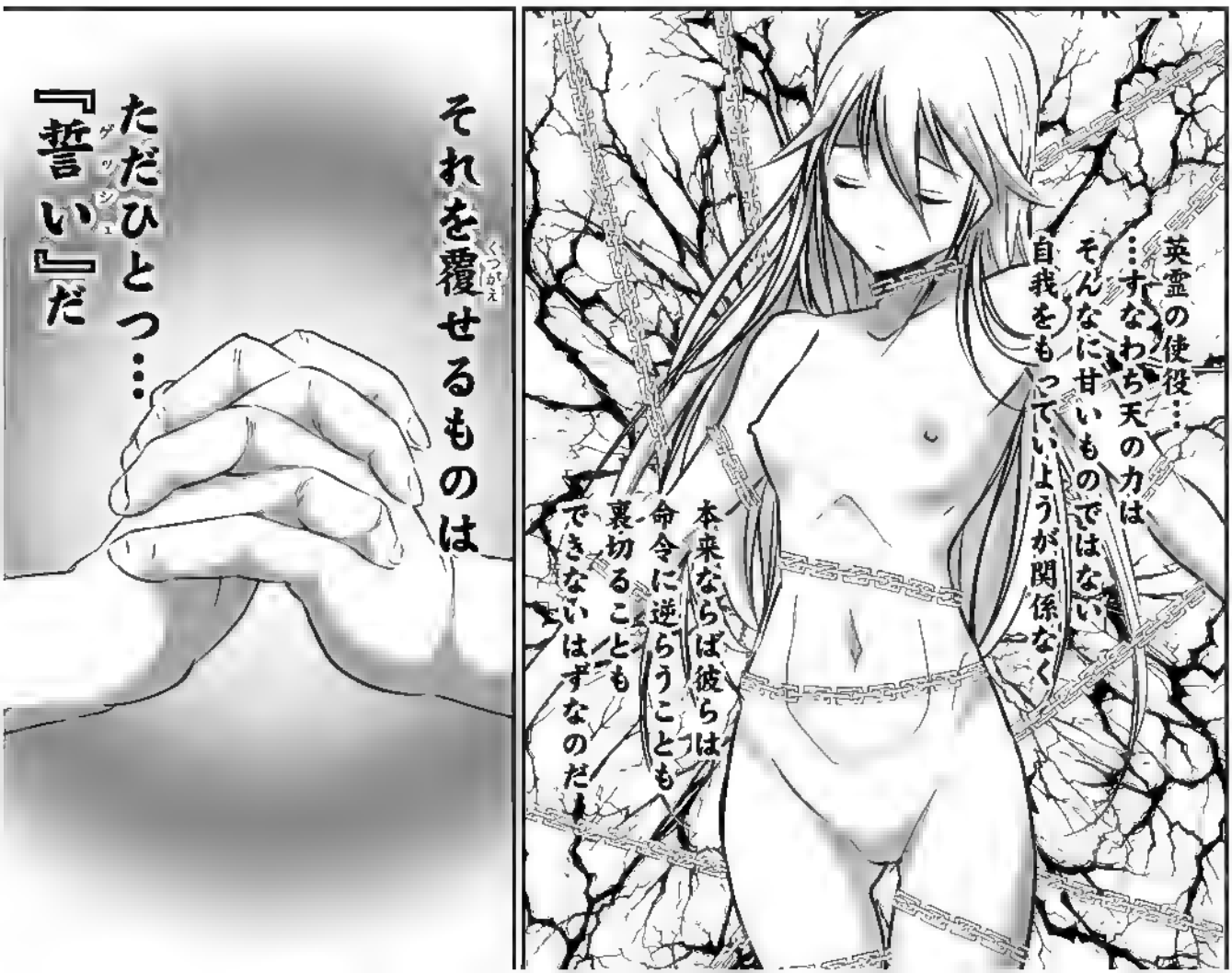
ズン…
ズン…
ズン…
ズン…
オウルタウン
ズン…
いやー これは
たまげたわ…
まさか
ダンジョンごと
立ち上がる
とは…
ズン…
流石(さすが)
オウル様
ですわ
ズン…

ズシ…
ズシ…
マジかよ…
なんて
でかさだ
あれは…
ゴーレム…？
目算で
1マイル…？

よもや
このような
奥の手を残して
いたとはな…
『鉛』め…
――まったく
厄介なことをして
くれたものだ
……
召喚した私が
知れるのは『英霊』の
能力の簡単な概要と
二つ名だけだ

『鉛』が魔術だけでなく
法術も無効化できること
『跳ね駒』が彼の妹であり
『鉛』の能力で
自我を保っていることも
承知している


しかし
取るに足らぬこと
と放置していた
むしろ自我を
持っているほうが
木偶(でく)よりよほど
戦力として
頼りになる


英霊の使役…
…すなわち天の力は
そんなに甘いものではない
自我をもっていようが関係なく
本来ならば彼らは
命令に逆らうことも
裏切ることも
できないはずなのだ
それを覆(くつがえ)せるものは
ただひとつ…
『誓い(グッシュ)』だ

英雄の誓いとはこの世で
もっとも神聖なものであり
これればかりは天の力をもっても
覆すことはできない

しかし
英霊が『誓い』を持つには
生前に誓い死ぬまで
これを守らなければならない

それは
かなりの難行だ
矛盾するようではあるが
天の力をもってしても
曲げることのできない『誓い』を

しかし守り切れる
英雄はほとんどいない
多くの英雄たちが
自ら立てた誓いを
破ったことにより
力を失い死んでいく

『跳ね駒』……『鉛』の妹が
オウルの部下であったことは
知っていた

しかし彼女が
オウルに愛を誓い

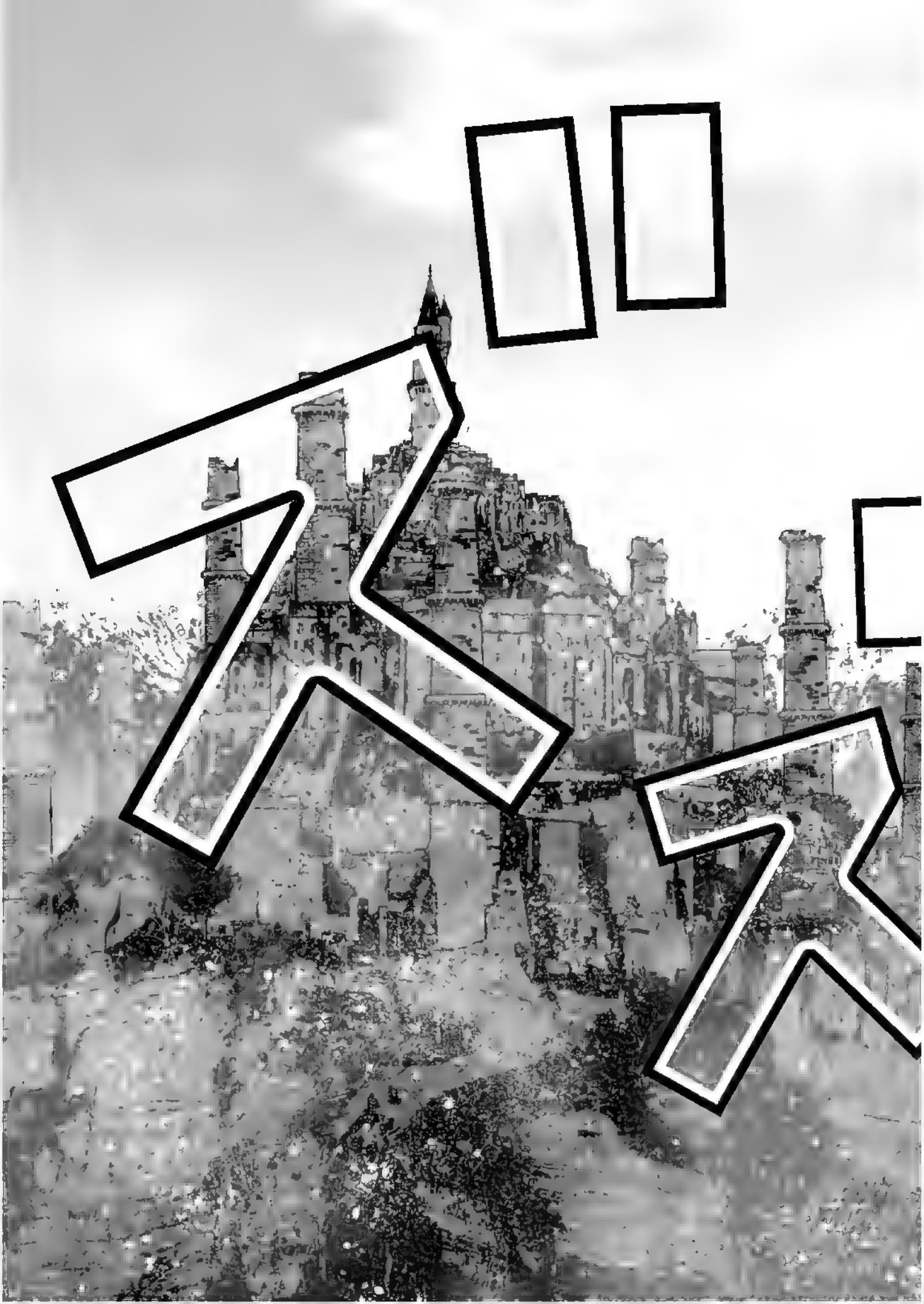
それを死ぬまで
手放さず守り続けた
というのか？

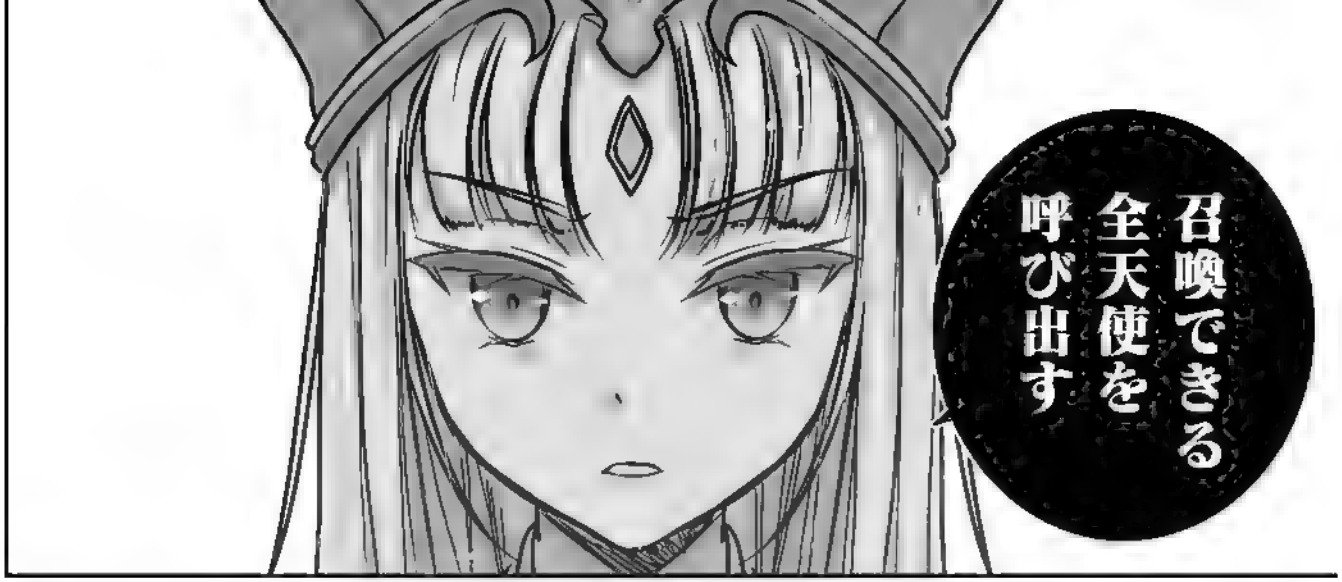
相手は
邪悪なる魔王
奸智に長け
何も信じず
寄せ付けぬ
孤独な魔術師だ
そのような者に
真実の愛を
抱くような人間が
いるはずがない
…いては
ならないのだ

『鉛』
やはり駄目か
ああ
…あれは
魔術ではない
ズン…
ズン…

あれは…
生き物です
血のかわりに
魔力が通い
心臓のかわりに
核がある
つまりあの巨人は
『魔王オウル』
そのもの
すべての術を
無効化する
『鉛』の能力も
生き物の命までは
奪うことはできない
それは魔術ではなく
「当たり前の法則」
だからだ…

どうしますボス
あのデカブツを黙らせるのはちょいとばかり骨ですよ
ズ…ン。。
…総攻撃
しかないだろうな




召喚できる
全天使を
呼び出す

……総力戦だ

魔王の始め方

ヴァルキリーコミックス
魔王の始め方 7
THE COMIC
【電子書籍版】

著者
小宮利公

原作
笑うヤカン

キャラクター原案
新堂アラタ

装丁
マイクロハウス

発行
株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041　東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル 1 F
●編集部 TEL.03-3551-6147／FAX.03-3551-6146
●販売部 TEL.03-3555-3431／FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Toshimasa Komiya　©Warau Yakan　2021
当ファイルは、ヴァルキリーコミックス『魔王の始め方 THE COMIC 7』
（2021 年 1 月 1 日　初版発行）に基づいて作成しております。

https://ktcom.jp/

※この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは一切関係ありません。

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、ジャンルなど
どしどしお書きください！　読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

◎アンケートフォーム◎ **https://ktcom.jp/goiken/**

◎手紙・ハガキの宛先◎
〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
(株)キルタイムコミュニケーション　ヴァルキリーコミックス感想係

魔王オウルの軍勢を迎え撃つ、大聖女メリザンド。
死せる英雄たちの魂『七英霊』を操り、
魔王の知略を打ち破る大聖女は、
生前、オウルの伴侶であったユニスの魂をも
魔王への刺客として差し向けて…。
そしてダンジョンでは、最後の総力戦を前に、
すべてのしもべと魔王との酒池肉林の宴が始まる！

HOW TO BOOK ON THE DEVIL THE COMIC 7

comicwork by komiya toshimasa - story work by warau yakan